

XL シリーズ

ソフトウェアガイド

カラーページプリンタ XL-C8365

FUJITSU[∞]

目次

このマニュアルについて	4
マークについて	4
記号について	4
表記について	4
商標および著作権について	5
1 プリンタードライバーの画面と機能	6
[基本設定] タブ	7
[詳細設定] タブ	7
[その他設定] タブ	8
2 いろいろな用紙に印刷する	9
はがきに印刷する	10
封筒に印刷する	11
ラベル紙に印刷する	12
不定形サイズの用紙に印刷する（カスタムサイズ）	13
長尺用紙に印刷する	14
3 仕上がりを変更する	15
カラーを調整する	16
濃度を手動で補正する	16
カラーバランス（濃度）を調整する	17
カラーデータをモノクロで印刷する	17
黒の仕上がりを変更する	18
プリンタードライバーでカラーマッチングする	18
インクの印刷結果をシミュレートする	19
モノクロ印刷モードを変更する	19
ソフトウェアを使ってカラー調整する	20
色ずれを手動で補正する	20
仕上がりを調整する	21
写真をより鮮明に印刷する	21
印刷品位（解像度）を変更する	22
細線や小さな文字のかすれを補正して印刷する	22
プリンターのフォントを使用して印刷する	23
パソコンのフォントを使用して印刷する	23
イメージ（画像）として印刷する	24
文字と背景の間の白すじを目立たなくする（ブラックオーバープリントをする）	24
色の重ね合わせの白すじを目立たなくする（トランピング機能）	25

4 便利な印刷機能	26
節約して印刷する	27
トナーを節約する	27
用紙の両面に印刷する（両面印刷）	28
複数のページを1枚の用紙におさめて印刷する（マルチページ印刷）	28
いろいろな印刷機能	29
拡大／縮小して印刷する	29
指定した用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する	30
複数のページを1部ずつに仕分けて印刷する（丁合印刷）	30
ポスターができるように原稿を拡大して印刷する	31
小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）	31
透かし文字を入れて印刷する（ウォーターマーク）	32
文字やロゴなどを重ねて印刷する（オーバーレイ印刷）	32
印刷方法を変更する	33
表紙だけを別のトレイから印刷する	34
用紙を1枚ずつ手差しで印刷する	34
指定した用紙のトレイを自動的に選択して印刷する	35
用紙切れ時に給紙するトレイを自動的に切り替えて印刷する	35
よく使う書類をパソコン無しで印刷する	36
印刷データを本機に蓄積してから印刷する	37
用紙に印刷せずにファイルに出力する	38
安全に印刷する	38
印刷データを暗号化して印刷する（プライベートジョブ印刷）	39
その他	40
よく使用する設定をプリンタードライバーに登録して印刷する	40
プリンタードライバーの初期値を変更する	41
余白を編集する	41
増設トレイの印刷位置を補正する	42
5 プリンターを管理/設定する	43
現在の設定を確認する	44
プリンターの設定を変更する	44
管理者用メニュー	45
その他設定のメニュー	48
Boot Menu	53
ブザーの設定をする	54
トレイ用紙サイズを確認するメッセージを非表示にする	54
停電になったとき	55

初期化する	55
フラッシュメモリーを初期化する	56
ネットワーク設定を初期化する	56
装置の設定を初期化する	57
Webページ (FUJITSU Printer Internet Service)	57
Webページでできること	58
本機のWebページを開く	58
管理者としてログインする	59
管理者のパスワードを変更する (Webページ)	60
本機の状態を確認/変更する	60
装置の設定情報 (メニュー・マップ) をデータとして保存する	61
パワーセーブモードを設定する (Webページ)	62
スリープモードを設定する (Webページ)	62
オートパワーオフを設定する (Webページ)	63
通信を暗号化する (SSL/TLS)	63
IPPを使用する	65
通信を暗号化する (IPSec)	65
IPアドレスでのアクセス制限機能 (IPフィルター) を使用する	68
MACアドレスでのアクセス制限機能を使用する	68
Eメールアラート	69
SNMPv3を使用する	70
IEEE802.1Xを使用する	70
Eメールの設定 (Webページ)	72
Webページの設定項目	72

6 便利なソフトウェア	76
ソフトウェア一覧	77
ソフトウェアのインストール	77
カラー調整ユーティリティ	78
パレットカラーを変更する	78
ガンマ値や色相を変更する	79
調整後のカラー設定で印刷する	80
カラー調整の設定を保存する	80
カラー調整の設定をインポートする	81
カラー調整設定を削除する	81
色見本印刷ユーティリティ	82
色見本を印刷する	82
色見本をカスタマイズする	83
色見本印刷ユーティリティのRGB設定値で印刷する	83

FUJITSU LPRユーティリティ	84
FUJITSU LPRユーティリティを起動する	84
FUJITSU LPRユーティリティに装置を登録する	85
登録した装置の状態を確認する	85
印刷ジョブを登録した装置に転送する	86
同じ文書を登録した複数の装置から印刷する	87
登録した装置のWebページを開く	87
登録した装置のIPアドレスに自動的に追従する	88
登録した装置のWebページのポート番号を設定する	88
FUJITSU LPRユーティリティに登録した本機にファイルを送る	89
不要な印刷ジョブを削除する	89
FUJITSU LPRユーティリティを削除する (アンインストール)	90
Network Extension	90
プリンターのプロパティを表示する	91
本機の設定を確認する	91
オプションを自動で設定する	92
Network Extensionを削除する (アンインストール)	92

このマニュアルについて

マークについて

本マニュアルでは、以下のマークを使用しています。

記号	意 味
!	本機を正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。
!	本機を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。
🔗	参照項目です。詳しい情報を知りたいときにお読みください。
📎	関連項目です。関連する情報を知りたいときにお読みください。

表記について

製品などの呼び方について

本マニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 11 Home	Windows 11
Windows 11 Pro	
Windows 11 Pro for Workstations	
Windows 11 Enterprise	
Windows 11 Education	
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	Windows Server 2022
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter	Windows Server 2019
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials	Windows Server 2016
Windows 10 Home	
Windows 10 Pro	
Windows 10 Pro for Workstations	
Windows 10 Enterprise	Windows 10
Windows 10 Education	
Windows 10 Enterprise LTSC 2021	
Windows 10 Enterprise LTSC 2019	
Windows 10 Enterprise LTSB 2016	
Windows 10 Enterprise LTSB 2015	Windows 8.1
Windows 8.1	
Windows 8.1 Pro	
Windows 8.1 Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	Windows Server 2012 (R2以外)
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard	
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation	
Web Services on Devices	
	WSD

画面例、イラストについて

- ・本マニュアルで使用されている操作パネルの表示画面は、工場出荷時の設定です。
- ・本マニュアルに掲載されている画面例のIPアドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- ・画面例でプリンターナンバーを「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンターナンバーで読み替えてください。
- ・機種、ソフトウェアのバージョン、OSによっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- ・本マニュアルに掲載されているプリンターのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。
- ・本マニュアルでは、特に記載がない限りWindows 10を例にしています。

「サインイン」／「サインアウト」について

Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012の場合、Windowsやソフトウェアに「ログイン」することを「サインイン」、「ログオフ」することを「サインアウト」といいます。ただし、本マニュアルでは、Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012の場合でも「ログイン」「ログオフ」と表記しています。

[スタート] メニューの【すべてのアプリ】について (Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10の場合)

[スタート] をクリックしてアプリの一覧が表示されていない場合は、 (すべてのアプリ) をクリックし、アプリの一覧を表示させてください。

【デバイスとプリンター】 フォルダーからの設定について

【デバイスとプリンター】 フォルダーからウィンドウを表示して設定を行うと、その設定値は、アプリケーションからウィンドウを表示したときの初期設定となります。

- 1 [プロパティ] ウィンドウを表示する場合は、管理者権限をもったユーザーでサインインします。
- 2 [デバイスとプリンター] フォルダーを表示します。
 - ・ Windows 11の場合
 - (1) [スタート] をクリックし、[すべてのアプリ] > [Windows ツール] を選択し、[コントロールパネル] をダブルクリックします。
 - (2) [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

- ・ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10の場合
 - (1) [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
- ・ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2の場合
 - (1) [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
- ・ Windows Server 2012 (R2以外) の場合
 - (1) スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] をクリックします。
 - (2) [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

- 3 使用するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [印刷設定] または [プリンターのプロパティ] をクリックします。
[印刷設定] ウィンドウまたは [プロパティ] ウィンドウが表示されます。



- ・ アプリケーションによっては、[プロパティ] が [詳細設定] と表示されたり、[プロパティ] ウィンドウのタブが [印刷] ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

商標および著作権について

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2021-2022

1

プリンタードライバーの画面と機能

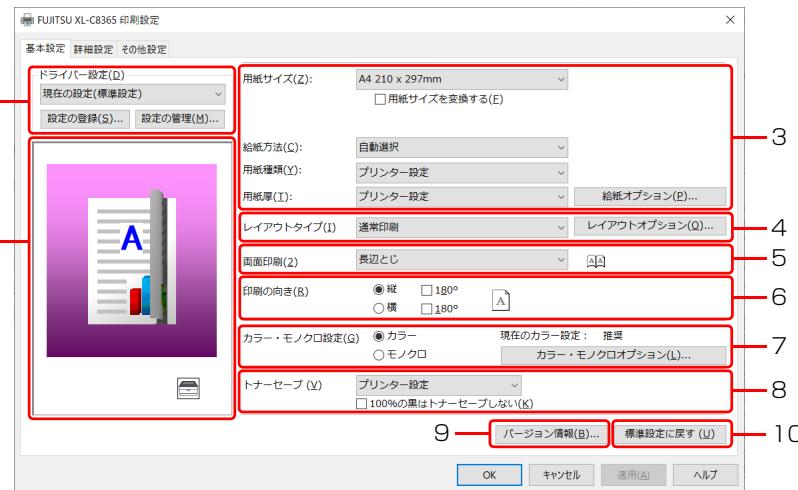
[基本設定] タブ

[詳細設定] タブ

[その他設定] タブ

ここでは、プリンタードライバーの画面と機能について説明します。

【基本設定】タブ



【詳細設定】タブ



項目	説明
1 ドライバー設定	設定を保存します。
2 レイアウトイメージ	印刷レイアウトのサンプレイメージを表示します。
3 メディア	用紙サイズ、用紙種類、用紙厚、給紙方法などを設定します。用紙種類は、お使いの用紙の種類に応じて設定してください。
4 レイアウトタイプ	複数ページ印刷、製本印刷、ポスター印刷などを設定します。
5 両面印刷	両面印刷時の設定をします。
6 印刷の向き	印刷の向きを設定します。
7 カラー・モノクロ設定	カラー印刷とモノクロ印刷を切り替えます。
8 トナーセーブ	トナーの使用量を抑えるために、印刷濃度を薄くします。
9 バージョン情報	プリンタードライバーのバージョンを表示します。
10 標準設定に戻す	タブの設定を初期値に戻します。



- 各設定項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。



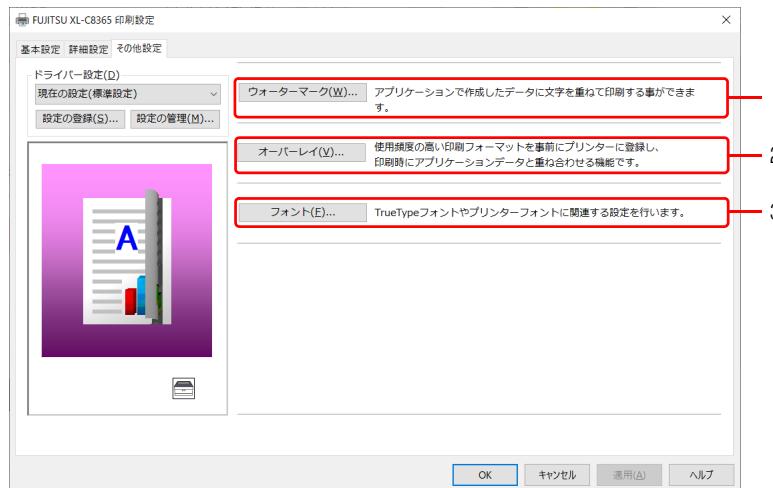
- 本製品のプリンタードライバーの初期設定は、両面印刷【長辺とじ】になっています。
主に片面印刷でお使いになる場合は、プリンタードライバーの【基本設定】タブにある【両面印刷】の設定を【なし】に変更してお使いください。

項目	説明
1 印刷品位	印刷の解像度を指定します。
2 拡大・縮小	印刷の拡大／縮小を設定します。
3 部数	印刷部数を指定します。
4 印刷形式	印刷の種類を設定します。
5 印刷モード	プリンターに送信する印刷データをPCL形式にするか、画像として送信するかを設定します。
6 その他特殊設定	その他の印刷設定をします。
7 標準設定に戻す	タブ内の各項目の設定値を初期値に戻します。



- 各設定項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

【その他設定】 タブ



項目		説明
1	ウォーターマーク	透かし文字やスタンプを付けて印刷する場合に設定します。
2	オーバーレイ	印刷フォーマットを事前にプリンターに登録し、重ね合わせて印刷する場合に設定します。
3	フォント	TrueType フォントとプリンターフォントを設定します。



- 各設定項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

2

いろいろな用紙に印刷する

[はがきに印刷する](#)

[封筒に印刷する](#)

[ラベル紙に印刷する](#)

[不定形サイズの用紙に印刷する（カスタムサイズ）](#)

[長尺用紙に印刷する](#)

ここでは、いろいろな用紙に印刷する方法について説明します。

はがきに印刷する

はがきに印刷するときは、用紙サイズの設定を変更し、マルチパーパストレイと後方排紙トレイを使用します。

まず、操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。その後で、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚などの印刷設定を行います。

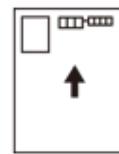


- 印刷後は反りが発生することがあります。必ず、試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- はがきは、両面印刷できません。

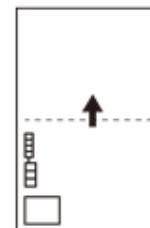
• プリンター本体で設定する

1 マルチパーパストレイにはがきをセットします。

はがき



往復はがき



2 背面の後方排紙トレイを開きます。



- 常にはがきをマルチパーパストレイから印刷したい場合は、セットした用紙を本機に登録します。一度だけ印刷をしたい場合は、プリンタードライバーからの印刷手順へ進んでください。
- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

3 操作パネルの《Fn》キーを押します。

4 数値の入力画面になるので、《9》、《0》、《設定》を押します。

5 スクロールボタン▼を押して [はがき] または [往復はがき] を選択し、《設定》を押します。

6 《オンライン》を押し、メニュー mode を終了します。

7 パソコンで、印刷するファイルを開きます。

8 プリンタードライバーで、用紙サイズ、給紙方法、印刷の向き、用紙厚を指定し、印刷します。



- 1枚ずつ確認しながら印刷する場合は、プリンタードライバーの「[1枚ずつ給紙する]」をチェック（または「[いいえ]」を選択）します。連続して印刷する場合は、「[1枚ずつ給紙する]」のチェックを外します（または「[いいえ]」を選択します）。詳しくは、「[用紙を1枚ずつ手差しで印刷する](#)」をご覧ください。

• プリンタードライバーで設定する

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [用紙サイズ] から [はがき] または [往復はがき] を選択します。

5 [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択します。

6 [印刷の向き] で [縦] または [横] を選択します。

7 坪量に応じて用紙厚などの設定をして、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。



- 用紙の印刷方向（印刷の向き）については、下記を参照してください。

[付録（ハードウェアガイド）](#)

封筒に印刷する

封筒に印刷するときは、用紙サイズの設定を変更し、マルチパーパストレイと後方排紙トレイを使用します。

まず、操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。その後で、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚などの印刷設定を行います。



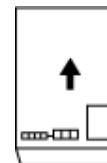
- 封筒は、両面印刷できません。
- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。必ず、試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 角形2号封筒は1枚ずつ手差しで印刷します。一度に複数枚セットすることはできません。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- 宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
 - 長形封筒（長形3号、長形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、図のようにセットします。
 - 洋形封筒（洋形0号、洋形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、図のようにセットします。

封筒（長形3号、4号）



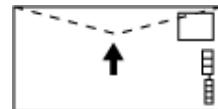
* フラップは折らずにそのままセットする

封筒（角形3号、2号）



* フラップは折らずにそのままセットする

封筒（洋形0号（洋長形3号）、4号）



• プリンター本体で設定する

- 1 マルチパーパストレイに封筒をセットします。
- 2 背面の後方排紙トレイを開きます。



- 常に封筒をマルチパーパストレイから印刷したい場合は、セットした用紙を本機に登録します。一度だけ印刷をしたい場合は、プリンタードライバーからの印刷手順へ進んでください。
- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

3 操作パネルの《Fn》キーを押します。

4 数値の入力画面になるので、《9》、《0》、《設定》を押します。

5 スクロールボタン▼を押して [封筒*] を選択し、《設定》を押します。

* セットした封筒の種類を選択します。

6 《オンライン》を押し、メニュー mode を終了します。

7 パソコンで、印刷するファイルを開きます。

8 プリンタードライバーで、用紙サイズ、用紙トレイ、印刷の向き、用紙厚を指定し、印刷します。



- 1枚ずつ確認しながら印刷する場合は、プリンタードライバーの [1枚ずつ給紙する] をチェック（または [いいえ] を選択）します。連続して印刷する場合は、[1枚ずつ給紙する] のチェックを外します（または [いいえ] を選択します）。詳しくは、「[用紙を1枚ずつ手差しで印刷する](#)」をご覧ください。

• プリンタードライバーで設定する

1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 [詳細設定] をクリックします。

3 [基本設定] タブの [用紙サイズ] から [封筒*] を選択します。

* セットした封筒の種類を選択します。

4 [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択します。

5 [印刷の向き] で [縦] または [横] を選択します。

6 必要に応じて用紙厚などの設定をして、[OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

ラベル紙に印刷する

ラベル紙に印刷するときは、用紙の種類の設定を変更し、マルチパーパストレイと後方排紙トレイを使用します。

まず、操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。次に、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚などの印刷設定を行います。



- ラベル紙は、両面印刷できません。

ラベル



• プリンター本体で設定する

- 1 マルチパーパストレイにラベル紙を図のようにセットします。
- 2 背面の後方排紙トレイを開きます。
- 3 操作パネルの《Fn》キーを押します。
- 4 数値入力の画面になるので、《9》、《0》、《設定》を押します。
- 5 スクロールボタン▼を押して [A4] または [レター] を選択し、《設定》を押します。
- 6 《戻る》を押し、[マルチパーパストレイ設定] 画面が表示されていることを確認します。
- 7 ▼を押して [用紙種類] を選択し、《設定》を押します。
- 8 ▼を押して [ラベル紙] を選択し、《設定》を押します。

9 《オンライン》を押し、メニュー mode を終了します。

10 パソコンで、印刷するファイルを開きます。

11 プリンタードライバーで、用紙サイズ、用紙トレイ、印刷の向きを指定し、印刷します。



- 1 枚ずつ確認しながら印刷する場合は、プリンタードライバーの [1枚ずつ給紙する] をチェック（または [いいえ] を選択）します。連続して印刷する場合は、[1枚ずつ給紙する] のチェックを外します（または [いいえ] を選択します）。詳しくは、「[用紙を1枚ずつ手差しで印刷する](#)」をご覧ください。

• プリンタードライバーで設定する

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。
- 3 [基本設定] タブの [用紙サイズ] で [A4] または [レター] を選択します。
- 4 [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択します。
- 5 [印刷の向き] で [縦] を指定します。
- 6 必要に応じて用紙厚などの設定をして、[OK] をクリックします。
- 7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

不定形サイズの用紙に印刷する（カスタムサイズ）

不定形の用紙サイズ（カスタムサイズ）に印刷するときは、操作パネルで不定形サイズ（カスタムサイズ）の用紙サイズと用紙種類、用紙厚を設定します。次に、プリンタードライバーで用紙サイズの登録を行います。

登録できる用紙サイズは、幅55 mm～297 mm、長さ90 mm～1321 mmです。

	用紙幅	用紙長
トレイ1	105～297 mm	148～431.8 mm
トレイ2/3/4（オプション）	148～297 mm	182～431.8 mm
マルチパーパストレイ	55～297 mm	90～1321 mm



- 用紙は縦向きに登録し、縦向きにトレイにセットします。
- 長さが432 mmを超えるときは、後方排紙トレイを使用します。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- 長さが432 mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。
- 用紙が長すぎて、マルチパーパストレイの用紙ソーターからはみ出るときは、用紙を手で支えてください。
- 斜行、カール、角折れ（耳折れ）、またこれらを起因とする紙づまりが発生する場合があります。事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。
- それぞれのトレイに給紙できる用紙サイズや両面印刷ができる用紙サイズについては、下記を参照してください。
- 用紙について（ハードウェアガイド）
- 工場出荷時は、トレイの自動切り替えが【有効】に設定されています。印刷中に用紙がなくなると、自動的に別のトレイから給紙を始めます。特定のトレイからカスタムサイズの用紙を給紙する場合は、トレイの自動切り替えを【無効】にしてください。

・プリンター本体で設定する

- カスタムサイズに設定できるサイズの用紙を、使用的トレイにセットします。
- スクロールボタン▼を数回押して【メニュー】を選択し、《設定》を押します。
- 【トレイ構成】が選択されていることを確認し、《設定》を押します。
- ▼を数回押して用紙をセットしたトレイの【トレイ設定】を選択し、《設定》を押します。
- 【用紙サイズ】が選択されていることを確認し、《設定》を押します。
- ▼を数回押して【カスタム】を選択し、《設定》を押します。
- 《戻る》を押します。

8 ▼を押して【用紙幅】を選択し、《設定》を押します。

9 テンキーを使用して用紙幅を入力し、《設定》を押します。

10 《戻る》を押します。

11 ▼を押して【用紙長】を選択し、《設定》を押します。

12 テンキーを使用して用紙長を入力し、《設定》を押します。

13 《オンライン》を押し、メニュー mode を終了します。

・プリンタードライバーで設定する

1 【ファイル】メニューから【印刷】を選択します。

2 【詳細設定】をクリックします。

3 【基本設定】タブの【給紙オプション】をクリックします。

4 【用紙サイズの追加】をクリックします。

5 【名称】に新しいサイズの名前を入力します。

6 【幅】および【長さ】に値を入力します。

7 【追加】をクリックして任意の用紙サイズをリストに保存し、【OK】をクリックします。
最大32個まで保存できます。

8 【印刷設定】画面が閉じるまで【OK】をクリックします。

9 印刷するファイルを開きます。

10 【ファイル】メニューから【印刷】を選択します。

11 【詳細設定】をクリックします。

12 【基本設定】タブの【用紙サイズ】で登録した用紙サイズを選択します。

13 必要に応じて用紙厚などの設定をして、【OK】をクリックします。

14 【印刷】画面で【印刷】をクリックします。

長尺用紙に印刷する

長尺用紙に印刷するときは、用紙の種類の設定を変更し、マルチパーパストレイと後方排紙トレイを使用します。

まず、操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。次に、プリンタードライバーで用紙サイズや用紙厚の登録を行います。

登録できる用紙サイズは、幅55 mm～297 mm、長さ90 mm～1321 mmです。



- 用紙サイズは必ず縦長に設定してください。縦の長さに、横の長さより短い数値を設定することはできません。
- アプリケーションによっては使用できないことがあります。
- 推奨条件で使用されたときでも、長さが356 mmを超える用紙は印刷品位を保証できないことがあります。
- 給紙や排紙の際には、必要に応じて手で支えてください。

• プリンター本体で設定する

- 1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。
- 2 背面の後方排紙トレイを開きます。
- 3 操作パネルの《Fn》キーを押します。
- 4 数値入力の画面になるので、《9》、《0》、《設定》を押します。
- 5 ▼を数回押して [カスタム] を選択し、《設定》を押します。
- 6 《戻る》を押します。
- 7 ▼を押して [用紙幅] を選択し、《設定》を押します。
- 8 テンキーを使用して用紙幅を入力し、《設定》を押します。
- 9 《戻る》を押します。
- 10 ▼を押して [用紙長] を選択し、《設定》を押します。
- 11 テンキーを使用して用紙長を入力し、《設定》を押します。
- 12 《オンライン》を押し、メニュー mode を終了します。



使用可能な長尺用紙

[用紙について（ハードウェアガイド）](#)

• プリンタードライバーで設定する

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [用紙サイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。



- 設定した用紙サイズが、210.0 x 900.0 mm、215.0 x 900.0 mm、215.0 x 1200.0 mm、297.0 x 900.0 mm、297.0 x 1200.0 mmの場合は、用紙サイズを [Banner *** x *** mm] から選択できます。

不定形サイズの設定方法は「[不定形サイズの用紙に印刷する（カスタムサイズ）](#)」を参照してください。

- 5 [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択します。
- 6 必要に応じて用紙厚などの設定をして、[OK] をクリックします。
- 7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

3

仕上がりを変更する

カラーを調整する

仕上がりを調整する

ここでは、パソコンから印刷するときの印刷結果を、より美しくするための設定について説明します。

カラーを調整する

- 濃度を手動で補正する
- カラーバランス（濃度）を調整する
- カラーデータをモノクロで印刷する
- 黒の仕上がりを変更する
- プリンタードライバーでカラーマッチングする
- インクの印刷結果をシミュレートする
- モノクロ印刷モードを変更する
- ソフトウェアを使ってカラー調整する
- 色ずれを手動で補正する

濃度を手動で補正する

本機は新しいイメージドラムを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき500枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行います。印刷濃度が気になる場合は、操作パネルから手動で調整することができます。



- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は《オンライン》を押します。

1 操作パネルの《Fn》キーを押します。



- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

2 数値の入力画面になるので、《3》、《0》、《0》、《設定》を押します。



- 濃度補正中は、操作パネルの表示画面の2行目（「印刷できます」の下）に「濃度補正中です」と表示します。

カラーバランス（濃度）を調整する

本機の色味を好みに合わせて調整する場合は、操作パネルで調整を行ってください。

調整は、各色の淡い（Highlight）・中間（Mid-Tone）・濃い（Dark）の3箇所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

1 操作パネルの《Fn》キーを押します。



- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

2 数値の入力画面になるので、《3》、《0》、《2》、《設定》を押します。

3 [印刷実行] が選択されていることを確認し、《設定》を押します。

色見本が印刷されます。



- カラー調整パターンでは、44個の四角形が印刷されます。淡い、中間、濃いカラーの現在の設定は、破線で示されます。調整する色を確認できます。

4 スクロールボタン▼を押して [プリンターアクセス] を選択し、《設定》を押します。

5 ▼を押して [シアン調整]、[マゼンタ調整]、[イエロー調整]、または [ブラック調整] を選択し、《設定》を押します。

6 ▼を押して [Highlight]、[Mid-Tone]、または [Dark] を選択し、《設定》を押します。

7 ▲または▼を押して値（-3～+3）を選択し、《設定》を押します。

8 《オンライン》を押して、メニューを終了します。

9 印刷します。

好みの色合いになるまで、繰り返します。

カラーデータをモノクロで印刷する

カラー原稿をモノクロで印刷できます。

• プリントドライバーで設定する

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [カラー・モノクロ設定] で [モノクロ] を選択します。

5 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

6 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。



- [モノクロ] を選択すると、シアン、マゼンタ、イエローのトナーが空になっていても、カラー原稿をモノクロで印刷することができます。

黒の仕上がりを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上がりを変えることができます。黒の部分の仕上がり設定は、プリンタードライバーで「オフィスカラー」または「グラフィックプロ」を選択した場合に使用できます。

黒の仕上がりには、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)のトナーから生成するものとブラック(K)トナーだけで生成するものの2種類があります。CMYKトナーを使った黒の仕上がりは、写真の印刷に適しています。黒トナーのみを使った黒の仕上がりは、黒い文字やグラフィックスの印刷に適しています。

【オフィスカラー】機能を使用する場合は自動も選択できます。自動の場合、適切な方式が自動的に選択されて原稿が印刷されます。

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3** [詳細設定] をクリックします。
- 4** [基本設定] タブの [カラー・モノクロ設定] で [カラー] を選択します。
- 5** [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[オフィスカラー] または [グラフィックプロ] を選択します。
- 6** [黒の生成] から黒の生成方式を選択し、[OK] をクリックします。
- 7** 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 8** [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

プリンタードライバーでカラーマッチングする

カラーマッチングは、原稿のカラーを管理・調整して、入力装置と出力装置の間で一貫性を維持することです。

ここでは、プリンタードライバーのカラーマッチングについて説明します。

● 推奨：

文書に適したカラーマッチングを行います。通常はこの設定でご使用ください。

● オフィスカラー：

ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーション用ソフトを使用したビジネス文書を印刷するときに設定します。RGBカラースペースの印刷データを、本機のCMYKカラースペース用にカラーマッチングします。

● グラフィックプロ：

DTP向けのソフトウェアを使用している場合に設定します。CMYK出力装置で印刷するときのシミュレーションを指定できます。

● カラーマッチングオフ：

アプリケーションでカラーマッチングを行うときに設定します。



- CMYKカラーデータを管理する場合は、グラフィックプロ機能を使用してください。
- CMYKのリンクプロファイルは指定できません。

- 1** 印刷するファイルを開きます。

- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

- 3** [詳細設定] をクリックします。

- 4** [基本設定] タブの [カラー・モノクロ設定] で [カラー] を選択します。

- 5** [カラー・モノクロオプション] をクリックします。

- 6** 設定したい項目を選択し、[OK] をクリックします。

- 7** 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

- 8** [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

インクの印刷結果をシミュレートする

CMYKカラーデータを調整して、オフセット印刷などで使用されるインクの特性を本機でシミュレートします。



- 本機能は、[カラー モード] で [グラフィック プロ] を選択した場合に使用できます。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [カラー・モノクロ設定] で [カラー] を選択します。

5 [基本設定] で [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[グラフィック プロ] を選択します。

6 [印刷シミュレーション] を選択します。

7 [入力情報] の [シミュレーション対象プロファイル] からシミュレートしたいインクの特性を選択し、[OK] をクリックします。

8 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

9 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

モノクロ印刷モードを変更する

モノクロページの印刷モードを調整できます。



- [管理者用メニュー] に入るには、管理者パスワードが必要です。

1 スクロールボタン▼を数回押して [管理者用メニュー] を選択し、《設定》を押します。

2 テンキーを使用して、管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

3 《設定》を押します。

4 ▼を数回押して [印刷設定] を選択し、《設定》を押します。

5 ▼を押して [モノクロ印刷モード] を選択し、《設定》を押します。

6 印刷モードを選択し、《設定》を押します。

[自動]	1 ページ目がモノクロページの場合は、ブラックのイメージドラムのみを使って印刷します。カラーページが現れた場合は4色のイメージドラムを使って印刷し、以降モノクロページが現れてもそのまま印刷します。
[生産性優先]	カラーページ、モノクロページの切り替え動作を行わず、常に4色のイメージドラムを使って印刷します。
[ID 寿命優先]	それぞれのページに含まれる色のイメージドラムのみを使って印刷します。印刷速度は遅くなります。

7 《オンライン》を押して、メニュー モードを終了します。

ソフトウェアを使ってカラー調整する

ユーティリティーソフトウェアを使ってカラー調整することができます。詳しくはそれぞれのユーティリティーの説明をご覧ください。

 カラー調整ユーティリティ

 色見本印刷ユーティリティ

色ずれを手動で補正する

本機は電源を入れたときや、本体排紙トレイを開閉したときに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、手動で調整することができます。

1 操作パネルの《Fn》キーを押します。



- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

2 数値の入力画面になるので、《3》、《0》、《1》、《設定》を押します。

3 [実行] が選択されていることを確認し、《設定》を押します。



- 色ずれ補正中は、操作パネルの表示画面の2行目（「印刷できます」の下）に「カラー調整中です」と表示します。

仕上がりを調整する

- 写真をより鮮明に印刷する
- 印刷品位（解像度）を変更する
- 細線や小さな文字のかすれを補正して印刷する
- プリンターのフォントを使用して印刷する
- パソコンのフォントを使用して印刷する
- イメージ（画像）として印刷する
- 文字と背景の間の白すじを目立たなくする（ブラックオーバープリントをする）
- 色の重ね合わせの白すじを目立たなくする（トラッピング機能）

写真をより鮮明に印刷する

写真などの画像を、より鮮明に印刷することができます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [フォトモード] にチェックを付けます。
- 6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

印刷品位（解像度）を変更する

必要に応じて印刷品質を変更できます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [印刷品位] から設定したい値を選択します。
- 6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

細線や小さな文字のかすれを補正して印刷する

プリンタードライバーの [極細線を補正する] をオンにすると、細線や小さな文字がかずれるのを防ぐことができます。

この機能は、工場出荷時の設定でオンになっています。

アプリケーションによっては、バーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合は、この機能をオフにしてください。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [その他特殊設定] をクリックします。
- 6 [項目] で [極細線を補正する] を選択し、[設定値の変更] で [オン] に設定して、[OK] をクリックします。
- 7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

プリンターのフォントを使用して印刷する



- ・プリンターのフォントは、画面に表示されるTrueTypeフォントのデザインを正確に再現するものではありません。
- ・この機能は、プリンタードライバーで【印刷モード】が【イメージ】の場合は使用できません。
- ・アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3** [詳細設定] をクリックします。
- 4** [その他設定] タブを選択します。
- 5** [フォント] をクリックします。
- 6** [TrueType フォントの出力形式] で [プリンターフォントで置き換える] にチェックを付けます。
- 7** [フォント置き換えテーブル] で、TrueType フォントの代わりに使用するプリンターのフォントを指定します。
- 8** [OK] をクリックします。
- 9** 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 10** [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

パソコンのフォントを使用して印刷する

パソコンのTrueType フォントを使用して、画面表示と同じ文字で印刷できます。

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3** [詳細設定] をクリックします。
- 4** [その他設定] タブを選択します。
- 5** [フォント] をクリックします。
- 6** [TrueType フォントの出力形式] の [プリンターフォントで置き換える] のチェックを外し、出力フォーマットを選択し、[OK] をクリックします。
 - ・[アウトラインフォントとしてダウンロード]
プリンターでフォントイメージを作成します。
 - ・[ビットマップフォントとしてダウンロード]
プリンタードライバーを使ってフォントイメージを作成します。
- 7** 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 8** [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

イメージ（画像）として印刷する

印刷に時間がかかる場合、[印刷モード] で [イメージ] を選択すると、印刷時間を短縮できる場合があります。



- 本機能には以下の制限があります。
 - 本機が共有プリンターに設定されている場合や、WSD/IPPポートでの接続およびリモートデスクトップクライアントなどの環境では、最適な色味で印刷されない場合があります。
 - オーバーレイ印刷、プリンターフォントを使用して印刷、トラッピング機能は使用できません。
 - 上記以外の機能で、[印刷モード] を [イメージ] に設定したときに使用できない設定が選択されると、競合を解消するための警告が表示されます。
 - 本機が接続されていない場合や、エラーなどでオフライン状態の場合には警告が表示されることがあります。
 - [印刷モード] の [PCL] で印刷した場合と、色味や表現の結果が異なる場合があります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [詳細設定] タブを選択します。

5 [印刷モード] で [イメージ] を選択します。



6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

文字と背景の間の白すじを目立たなくする（ブラックオーバープリントをする）

黒い文字とカラーの背景との間に白いすじなどの隙間ができるような場合に、黒を重ね合わせて減らすことができます。



- アプリケーションによっては、この機能を使用できないことがあります。
- この機能は、背景カラーの上に文字だけを印刷する場合に使用できます。
- トナー層が厚い場合は、トナーが確実に定着しない場合があります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [詳細設定] タブを選択し、[その他特殊設定] をクリックします。

5 [黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する] の設定を [オン] に変更し、[OK] をクリックします。

6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

色の重ね合わせの白すじを目立たなくする（トラッピング機能）

重なり合うオブジェクト間に白すじや色のすじができるような場合は、トラッピング機能を使うとより目立たなくすることができます。



- この機能は、プリンタードライバーで、[印刷モード] が [イメージ] の場合は使用できません。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択し、[その他特殊設定] をクリックします。
- 5 [トラッピングする] の設定を、補正したい範囲に合わせて [狭い] または [広い] に変更し、[OK] をクリックします。
- 6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

4

便利な印刷機能

節約して印刷する

いろいろな印刷機能

印刷方法を変更する

安全に印刷する

その他

ここでは、パソコンから印刷するときに便利な機能について説明します。

節約して印刷する

ここでは、用紙やトナーを節約して印刷する方法について説明します。

- [トナーを節約する](#)
- [用紙の両面に印刷する（両面印刷）](#)
- [複数のページを1枚の用紙におさめて印刷する（マルチページ印刷）](#)

トナーを節約する

トナーの消費量を節約して印刷します。

トナーの節約量は、3段階で設定できます。

- [プリンター設定]：装置の設定に従います。
- [オフ]：トナーを節約せず通常の濃度で印刷されます。
- [セーブ量 少ない]：やや薄い濃度で印刷されます。
- [セーブ量 やや多い]：薄い濃度で印刷されます。
- [セーブ量 多い]：かなり薄い濃度で印刷されます。



- この機能を使用して印刷する画像の濃度は、印刷する原稿によって異なります。
- 100%の黒について印刷濃度を下げたくない場合は、[100%の黒はトナーセーブしない]にチェックを付けています。
- トナーセーブは、プリンター本体の操作パネルからも設定できます。[管理者メニュー] > [印刷設定] > [トナーセーブ] > [トナーセーブ量]で、トナーセーブ量を設定します。ただし、プリンタードライバーの設定が優先されます。
- プリンタードライバーの初期設定は、「プリンター設定」です。

- 1** 印刷するファイルを開きます。
- 2** [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3** [詳細設定] をクリックします。
- 4** [基本設定] タブを選択します。
- 5** [トナーセーブ] からトナーのセーブ量を選択します。
- 6** 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 7** [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

用紙の両面に印刷する（両面印刷）

用紙の両面に印刷できます。

● 両面印刷できる用紙サイズ

A3、A4、A5、B4、B5、B6、リーガル、レター、カスタムサイズ



- カスタムサイズについては、下記の幅および長さになります。
 - 幅：128~297 mm
 - 長さ：182~431.8 mm

● 両面印刷できる用紙の厚さ

坪量64~220 g/m²

それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使用できません。



- アプリケーションによっては使用できないことがあります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [両面印刷] から [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

5 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

6 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

複数のページを1枚の用紙におさめて印刷する（マルチページ印刷）

複数ページのデータを1枚の用紙の片面に縮小して印刷できます。



- データを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- アプリケーションによっては使用できないことがあります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [レイアウトタイプ] で1枚に印刷するページ数を選択します。

5 [レイアウトオプション] をクリックします。

6 [枠線]、[ページ配置]、[とじ代] を設定して、[OK] をクリックします。

7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

いろいろな印刷機能

ここでは、拡大／縮小印刷や製本印刷など、さまざまな印刷方法を説明します。

- [拡大／縮小して印刷する](#)
- [指定した用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する](#)
- [複数のページを1部ずつに仕分けて印刷する（丁合印刷）](#)
- [ポスターができるように原稿を拡大して印刷する](#)
- [小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）](#)
- [透かし文字を入れて印刷する（ウォーターマーク）](#)
- [文字やロゴなどを重ねて印刷する（オーバーレイ印刷）](#)

拡大／縮小して印刷する

印刷データを変更せずに、印刷したい倍率で印刷できます。



- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブの [拡大・縮小] に拡大・縮小する倍率を入力します。
- 5 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 6 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

指定した用紙サイズに合わせて拡大／縮小印刷する

印刷データを変更せずに、別の用紙サイズに印刷できます。



- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [用紙サイズ] で、印刷データの用紙サイズを選択します。

5 [用紙サイズ] の [用紙サイズを変換する] にチェックを付けます。

6 印刷する用紙サイズを選択します。

7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

複数のページを1部ずつに仕分けて印刷する（丁合印刷）

複数ページの印刷ジョブを部単位で印刷できます。



- アプリケーションによっては使用できないことがあります。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [詳細設定] タブを選択します。

5 [部数] に印刷部数を入力し、[部単位で印刷] にチェックを付けます。

6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

ポスターができるように原稿を拡大して印刷する

1枚の原稿を、複数の用紙に分割／拡大して印刷できます。最後に各用紙を組み合わせると1枚のポスターになります。



- この機能は、IPPネットワークを使用しているときは使用できません。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [レイアウトタイプ] から [ポスター印刷] を選択します。

5 [レイアウトオプション] をクリックします。

6 必要に応じて [拡大]、[トンボ]、[オーバーラップ] の値を設定し、[OK] をクリックします。

7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。



- A3の用紙を2枚使用してA2サイズのポスターを作成するときは、用紙サイズに [A3] を選択し、[拡大] で [2枚] を選択します。
- プリンタードライバーでこの機能が使用できない場合は、「プリンターフォルダー」を開き、[FUJITSU XL-C8365] アイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブ > [プリントプロセッサ] > [XLX05NPP] > [RAW] を選択し、[OK] をクリックします。

小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）

製本印刷は、ページの配置を変更して、印刷した用紙を2つ折りにすることで冊子を作成する機能です。



- アプリケーションによっては使用できないことがあります。
- 【製本印刷】では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- この機能は、プリンターをプリントサーバーでネットワーク共有しているクライアントコンピューターからプライベートジョブ印刷をするときには無効です。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [レイアウトタイプ] で [製本印刷] を選択します。

5 [レイアウトオプション] をクリックし、必要に応じて製本印刷の設定をします。

- [折丁]：閉じるページ単位を指定します。
- [2up]：1枚に2ページ印刷します。
- [右開き]：右開きの冊子になるように印刷します。
- [とじ代]：余白を設定します。

6 [OK] をクリックします。

7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。



- A4サイズの用紙を使用してA5サイズの小冊子を作成する場合 [基本設定] タブの [用紙サイズ] で [A4] を選択します。
- プリンタードライバーで [製本印刷] ができない場合は、「プリンターフォルダー」を開き、[FUJITSU XL-C8365] アイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] > [詳細設定] タブ > [プリントプロセッサ] > [XLX05NPP] > [RAW] を選択し、[OK] をクリックしてください。

透かし文字を入れて印刷する（ウォーターマーク）

ウォーターマーク機能を使用すると、アプリケーションで作成したデータに文字を重ねて印刷することができます。



- 製本印刷では、ウォーターマークは適切に印刷されません。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [その他設定] タブの [ウォーターマーク] をクリックします。



- 印刷するユーザー名やドキュメント名などのジョブ情報をウォーターマークとして印刷する場合は、[ジョブ情報を印刷する] にチェックを付けて、印刷するジョブ情報を設定してください。

- 5 [新規] をクリックします。
- 6 [ウォーターマークの編集] 画面の [文字列] に、スタンプ印刷する文字列を入力します。
- 7 [フォント]、[サイズ] 他を必要に応じて設定し、[OK] をクリックします。
- 8 印刷するウォーターマークが選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。
- 9 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 10 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

文字やロゴなどを重ねて印刷する（オーバーレイ印刷）

原稿にオーバーレイ（ロゴ、フォームなど）を印刷できます。オーバーレイは、フォームのグループです。1つのオーバーレイに4つのフォームを登録できます。フォームは登録された順に重ね合わせて印刷されます。最後に登録したフォームが一番上に印字されます。

オーバーレイ印刷をする前に、フォームを作成し、本機に登録しておきます。



- プリンタードライバーで、[印刷モード] が [イメージ] の場合は使用できません。

フォームを登録する

- 1 アプリケーションでプリンターに登録したいフォームを作成します。
- 2 [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [その他設定] タブの [オーバーレイ] をクリックします。
- 5 [印刷ドキュメントを新規フォームとして登録する] を選択します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。
- 9 [新規-フォーム] で、プリンターに登録する [フォームの名前] と [ID] を入力します。



- オーバーレイの印刷位置も指定することができます。

- 10 プリンタードライバーへの登録情報として、[印刷するページ] でそのオーバーレイを適用するページを選択します。
ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、[ページを指定] に適用するページを入力します。

- 11 [OK] をクリックします。

フォームを印刷する

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [その他設定] タブを選択します。
- 5 [オーバーレイ] をクリックします。
- 6 [オーバーレイ印刷] を選択して、ドロップダウンリストからオーバーレイ印刷するフォームを選択します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 9 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

印刷方法を変更する

- 表紙だけを別のトレイから印刷する
- 用紙を1枚ずつ手差しで印刷する
- 指定した用紙のトレイを自動的に選択して印刷する
- 用紙切れ時に給紙するトレイを自動的に切り替えて印刷する
- よく使う書類をパソコン無しで印刷する
- 印刷データを本機に蓄積してから印刷する
- 用紙に印刷せずにファイルに出力する

表紙だけを別のトレイから印刷する

1ページ目を給紙するトレイと、残りのページを給紙するトレイを分けることができます。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [給紙オプション] をクリックします。
- 5 [1ページ目の給紙方法を指定する] にチェックを付けます。
- 6 [給紙] から用紙トレイを選択し、[OK] をクリックします。
必要に応じて [用紙種類] から用紙の種類、[用紙厚] から用紙厚を選択します。
- 7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

用紙を1枚ずつ手差しで印刷する

マルチパーパストレイに用紙をセットして1枚ずつ印刷できます。

1ページ印刷するごとに、操作パネルに「手差し印刷を行ないます [用紙サイズ] をマルチパーパストレイにセットして、オンラインボタンを押してください」とメッセージが表示されます。印刷を続けるときは、《オンライン》を押します。

印刷を中止するときは、《キャンセル》を押します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [給紙方法] から [マルチパーパストレイ] を選択します。
- 5 [給紙オプション] をクリックします。
- 6 [マルチパース設定] で [1枚ずつ給紙する] にチェックを付け、[OK] をクリックします。
- 7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。
- 9 操作パネルにメッセージが表示されたら、マルチパーパストレイに用紙をセットして《オンライン》を押します。
複数ページの原稿を印刷するときは、1ページ印刷するたびに、同じメッセージが表示されます。

指定した用紙のトレイを自動的に選択して印刷する

プリンタードライバーで設定した用紙サイズや用紙タイプに一致するトレイ（用紙カセット（トレイ1～4）または、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。トレイを選択する順序は、[トレイ選択順序] の設定に従います。



- 必ず操作パネルで、用紙カセット、マルチパーパストレイの用紙サイズと用紙厚を設定してください。
- [用紙をセットする（ハードウェアガイド）](#)

● マルチパーパストレイを使用する場合

工場出荷時、マルチパーパストレイは、使い方が [用紙違いの時] に設定されています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象にはなりません。

マルチパーパストレイを自動トレイ選択の対象にするには、以下のように設定します。

1 操作パネルの《Fn》キーを押します。



- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

2 数値の入力画面になるので、《9》、《5》、《設定》を押します。

3 スクロールボタン▼を押して [トレイとして] を選択し、《設定》を押します。

4 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。

● プリンタードライバーで設定する

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [給紙方法] から [自動選択] を選択します。

5 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

6 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

用紙切れ時に給紙するトレイを自動的に切り替えて印刷する

トレイ（用紙カセット（トレイ1～4）または、マルチパーパストレイ）に用紙サイズと用紙厚、用紙タイプが同じ用紙をセットしている場合に、給紙するトレイの用紙が切れても他のトレイから給紙して印刷するように設定できます。

最初に、操作パネルで自動トレイ切り替えになるように設定します。次に、プリンタードライバーでトレイの自動切り替えを設定します。



- 使用するトレイの用紙設定について、本体の設定とプリンタードライバーの設定を同じに値にしてください。
- [用紙をセットする（ハードウェアガイド）](#)

● マルチパーパストレイを使用する場合

工場出荷時、マルチパーパストレイは、使い方が [用紙違いの時] に設定されています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象にはなりません。

マルチパーパストレイを自動トレイ選択の対象にするには、以下のように設定します。

1 操作パネルの《Fn》キーを押します。



- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

2 数値の入力画面になるので、《9》、《5》、《設定》を押します。

3 スクロールボタン▼を押して [トレイとして] を選択し、《設定》を押します。



- トレイは、[トレイ選択順序] の設定に従い、切り替わります。

4 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。

● プリンタードライバーで設定する

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

- 4 [基本設定] タブの [給紙オプション] をクリックします。
- 5 [トレイ切り替え] の [自動] にチェックを付け、[OK] をクリックします。
- 6 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 7 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

よく使う書類をパソコン無しで印刷する

本機に印刷データを保存しておき、必要に応じて操作パネルから印刷できます。



- メモリーの容量不足で、スプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであることを示すメッセージが表示され、印刷ジョブは実行されません。

ジョブを保存する

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [印刷形式] の [共有ジョブとして保存] を選択します。
- 6 [印刷形式オプション] をクリックします。
- 7 [ジョブ名] にジョブ名を入力します。
[印刷時に印刷形式オプションを入力する] にチェックを付けると、プリンターにジョブを送信するときにジョブ名をたずねるプロンプトが表示されます。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 必要に応じて、他の設定を行い、印刷します。
プリンターに印刷ジョブが送信されるだけで、まだ印刷されません。

保存したジョブを印刷する

- 1 操作パネルの《Fn》キーを押します。
- 2 数値の入力画面になるので、《1》、《設定》を押します。

3 共有ジョブがリスト表示されるので、▲または▼を押して、印刷したい共有ジョブを選択し、《設定》を押します。

- すべての共有ジョブを印刷する場合は [全て印刷] を押します。
- [全て削除] を押すと表示中のすべての共有ジョブを削除します。

4 [印刷] が選択されていることを確認し、《設定》を押します。

[削除] を選択し《設定》を押すと、印刷ジョブを削除できます。

5 印刷部数を入力し、《設定》を押します。

印刷データを本機に蓄積してから印刷する

本機に搭載しているメモリーに印刷ジョブを蓄えることができます。パソコン側での作業が早く終わるので、本機がバックグラウンドで動作している間、パソコンは他の作業を行えます。



- メモリーの容量不足で、スプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであることを示すメッセージが表示され、印刷ジョブは実行されません。

1 印刷するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [詳細設定] タブを選択します。

5 [その他特殊設定] をクリックします。

6 [ホストの開放を優先する] を選択し、[設定値の変更] で [オン] を選択して、[OK] をクリックします。

7 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

用紙に印刷せずにファイルに出力する

印刷データを用紙に印刷せず、ファイルに書き出して保存できます。



- パソコンに管理者としてログインする必要があります。

1 「プリンターフォルダー」を開きます。

2 [FUJITSU XL-C8365] アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

3 [ポート] タブを選択します。

4 ポートの一覧から [FILE:] を選択し、[OK] をクリックします。

5 印刷するファイルを開きます。

6 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

7 [印刷] をクリックします。

8 ファイルの名前を入力し、[OK] をクリックします。

例 : C:\temp\printdata.prn

安全に印刷する

ここでは、印刷結果を他人の目に触れないように印刷する方法について説明します。

- 印刷データを暗号化して印刷する（プライベートジョブ印刷）

印刷データを暗号化して印刷する（プライベートジョブ印刷）

プライベートジョブ印刷は、個人用の文書や機密文書の印刷結果を他人の目に触れないようにするため、印刷ジョブを暗号化してパスワードを付けて本機のメモリーに保存し、操作パネルから印刷ジョブを認証して印刷します。

印刷ジョブを暗号化して送信するため、機密情報への不正なアクセスを防止できます。



- 本機の内蔵メモリーの容量不足で、スプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであることを示すメッセージが表示され、印刷ジョブは実行されません。
- 本機をプリントサーバーでネットワーク共有している場合、プリンタードライバーでは、ポスター印刷または小冊子印刷とこの機能を併用することはできません。
- この機能を使用するときは、[ホストの開放を優先する] のチェックを外してください。

印刷データを本機に蓄積してから印刷する

パソコンで暗号化／パスワードを設定する

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [印刷形式] の [プライベートジョブ印刷] を選択します。
- 6 [印刷形式オプション] で [パスワード] に任意のパスワードを入力します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 9 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

本機に暗号化してパスワードを設定した印刷ジョブが送信されるだけで、まだ印刷されません。

暗号化／パスワードが設定された文書を本機から印刷する

本機の内蔵メモリーに保存された、暗号化してパスワードを設定した印刷ジョブを印刷します。

- 1 操作パネルの《Fn》キーを押します。
- 2 数値の入力画面になるので、《2》、《設定》を押します。
- 3 ユーザーリストが表示されるので、自分のパソコンのユーザー名を選択し、《設定》を押します。
- 4 パソコンで設定したパスワードを入力して、《設定》を押します。
- 5 プライベートジョブがリスト表示されるので、スクロールボタン▲または▼を押して印刷したいプライベートジョブを選択し、《設定》を押します。
- 6 [印刷実行] が選択されていることを確認し、《設定》を押します。
[削除] を選択し《設定》を押すと、指定したプライベートジョブを削除します。
- 7 印刷部数を入力し、《設定》を押します。



- メモリーに保存されている印刷ジョブは、印刷が終了するか、設定した期間を過ぎても印刷されないと、自動的に削除されます。データの送信時にエラーが発生したり、ジョブがパソコンから送信されたときから変更されていることを検出した場合は、ジョブは自動的に削除されます。

その他

- よく使用する設定をプリンタードライバーに登録して印刷する
- プリンタードライバーの初期値を変更する
- 余白を編集する
- 増設トレイの印刷位置を補正する

よく使用する設定をプリンタードライバーに登録して印刷する

よく使用する設定を登録する

プリンタードライバーで設定した内容を保存できます。



- 最大14個まで保存できます。

- 1 「プリンターフォルダー」を開きます。
- 2 [FUJITSU XL-C8365] アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。
- 3 保存したい印刷設定を設定します。
- 4 [基本設定] タブで [ドライバー設定] の [設定の登録] をクリックします。
- 5 保存する設定の名前を指定し、[OK] をクリックします。
- 6 [OK] をクリックして [印刷設定] 画面を閉じます。

登録した設定で印刷する

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [ドライバー設定] から使用する設定を選択します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

プリンタードライバーの初期値を変更する

頻繁に使用する機能をプリンタードライバーの初期設定として設定できます。

- 1 「プリンターフォルダー」を開きます。
- 2 [FUJITSU XL-C8365] アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。
- 3 プリンタードライバーの初期設定として使用する印刷設定をします。
- 4 [OK] をクリックします。

余白を編集する

印刷する用紙に対して、上下左右それぞれ30.0 mm/1.18 inchまで余白を拡張し、印刷可能領域を変更して印刷できます。

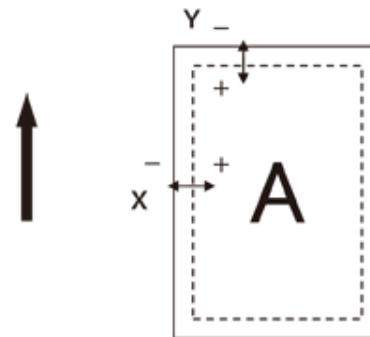
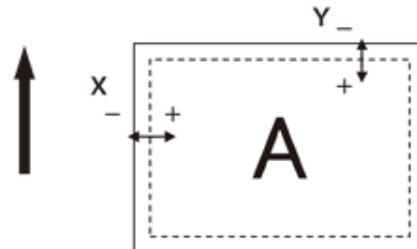
- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [詳細設定] タブを選択します。
- 5 [その他特殊設定] をクリックします。
- 6 [項目] で [余白を編集する] を選択し、[設定値の変更] で [オン] に設定して、[オプション] をクリックします。
- 7 [上]、[下]、[左]、[右] に余白の値を入力し、[OK] をクリックします。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 必要に応じてその他の設定をして、[OK] をクリックします。
- 10 [印刷] 画面で [印刷] をクリックします。

増設トレイの印刷位置を補正する

用紙内の印刷開始位置を、トレイごとに、縦横それぞれ補正することができます。



- 図中の太い矢印は、用紙の送り方向を示します。
- Xは用紙の送り方向に対して直交する方向を表し、Yは用紙の送り方向を表します。
- X方向の余白を広げる場合は、[+]、Y方向の余白を広げる場合は、[+]に補正してください。
- ご使用条件（温湿度 / 媒体種類など）により、再調整が必要になる場合があります。
- この機能は、位置の補正であり、書き出し位置精度（±2mm）を向上させるものではありません。



1 操作パネルの《Fn》キーを押します。

2 数値の入力画面が表示されるので、補正したいトレイの機能番号を押して、《設定》を押します。



- それぞれのトレイに対応する機能番号は、下記のとおりです。

対象トレイ	機能番号
マルチパーパストレイ	220
トレイ1	221
トレイ2	222
トレイ3	223
トレイ4	224

3 スクロールボタン▲または▼を押し、補正したい項目を選択します。

4 《設定》を押します。

5 ▲または▼を押して、調整量を選択し、《設定》を押します。選択した値の左側に*が付いていることを確認します。

6 《オンライン》を押して、待機画面に戻ります。

5

プリンターを管理 / 設定する

現在の設定を確認する

プリンターの設定を変更する

初期化する

Webページ (FUJITSU Printer Internet Service)

現在の設定を確認する

この節では、プリンターの設定情報を確認するための操作手順について説明します。

プリンター情報印刷を行って、プリンターの現在の設定を確認することができます。

「[本機のWebページを開く](#)」で確認することもできます。

• プリンター情報を印刷する

プリンターの設定内容や印刷集計結果を印刷し、確認することができます。



- プリンターが節電モードになっている場合は、《節電》ボタンを押し、節電モードから復帰してください。

1 操作パネルの《Fn》キーを押します。

2 数値の入力画面になるので、《1》、《0》、《0》、《設定》を押します。

3 [メニュー・マップ] が表示され、[印刷実行] が選択されていることを確認し、
《設定》を押します。

4 メニュー・マップが印刷され、設定内容を確認することができます。



- [メニュー・マップ] 以外のプリンター情報については、「[その他設定のメニュー](#)」の [プリンター情報印
刷] をご覧ください。

プリンターの設定を変更する

プリンターの設定を変更するための操作手順を説明します。

- [管理者用メニュー](#)
- [その他設定のメニュー](#)
- [Boot Menu](#)
- [ブザーの設定をする](#)
- [トレイ用紙サイズを確認するメッセージを非表示にする](#)
- [停電になったとき](#)

管理者用メニュー

プリンターの管理者として、プリンターの設定を変更するための手順を説明します。

- 1 操作パネルのスクロールボタン▼を数回押して、[管理者用メニュー] を選択し、《設定》を押します。**
- 2 テンキーから管理者パスワードを入力します。**
工場出荷時は、管理者パスワード「aaaaaa」が登録されています。
- 3 《設定》を押します。**
- 4 ▲または▼を押して設定を変更したいメニューを選択し、《設定》を押します。**
- 5 ▲または▼を押して設定値を変更します。**
- 6 《設定》を押します。**
- 7 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。**

● ネットワーク設定

項目	工場出荷時の 設定値	説明
TCP/IP	有効	TCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。
NetBIOS over TCP	有効	NetBIOS over TCPプロトコルの有効/無効を設定します。
IPアドレス設定	自動	IPアドレスを自動で取得するか、手動で入力するかを設定します。
IPv4アドレス	***.***.***.***	IPアドレスを手動で入力します。[IPアドレス設定] が [手動] のとき表示されます。
サブネットマスク	***.***.***.***	サブネットマスクを入力します。[IPアドレス設定] が [手動] のとき表示されます。
ゲートウェイアドレス	***.***.***.***	ゲートウェイアドレスを入力します。[IPアドレス設定] が [手動] のとき表示されます。
DHCPv6	Disable	DHCPv6の有効/無効を設定します。
Web	有効	プリンターのWebページへのアクセスの有効/無効を設定します。
IPSec	無効	IPSecの有効/無効を設定します。
SNMP	有効	SNMPの有効/無効を設定します。
ネットワークの規模	普通	通常は、「普通」のままで使用します。パソコン2~3台の小さなネットワークに接続する場合、「小規模」に設定します。

項目	工場出荷時の 設定値	説明
ギガビットネットワーク	無効	1000Base-T接続の有効/無効を設定します。 無効になると、1000Base-T Full/Halfの接続ができなくなります。
ハブとの接続	自動	ハブとの接続方法を設定します。
工場出荷時設定	実行	ネットワークメニューの設定を初期化します。

● USB設定

項目	工場出荷時の 設定値	説明
USB	有効	USBインターフェースの有効/無効を設定します。
スピード	480Mps	USBインターフェースの最大転送速度を設定します。
ソフトリセット	無効	ソフトリセットコマンドの有効/無効を設定します。
シリアル番号	有効	USBシリアルナンバーの有効/無効を指定します。USBシリアルナンバーは、パソコンが、接続されているUSBデバイスを識別するために使用されます。

● 印刷設定

項目	工場出荷時の 設定値	説明
コピー枚数	1	コピー枚数を設定します。
両面印刷	オン	両面印刷をする/しない、を設定します。
綴じ方	長辺綴じ	両面印刷の綴じ方を指定します。
用紙チェック	有効	印刷データの用紙サイズと、トレイの用紙サイズの不一致を確認するかどうかを設定します。
A4/レター 置き換え	はい	A4用紙が切れてレター用紙がセットされているときに、印刷する用紙をA4からレターに、またはレター用紙が切れたときにレターからA4に、自動的に切り替える機能を設定します。
解像度	600dpi	解像度を設定します。
トナーセーブ	トナーセーブ量	トナーセーブ量を設定します。
	対象色	トナーセーブを100%黒に反映させるかどうかを指定します。
モノクロ印刷モード	自動	モノクロページの印刷モードを設定します。
印刷方向	縦	印刷方向を指定します。PSの場合は、本設定は無効となります。
編集サイズ	カセットサイズ	パソコンから用紙編集サイズ指定コマンドによるサイズ指定がなかった場合に描画する領域のサイズを設定します。
トラッピング	オフ	となり合った色の間に白いすじができる場合に設定します。

項目	工場出荷時の設定値	説明
用紙幅	210ミリ	カスタム用紙サイズの用紙幅のデフォルト値を設定します。
用紙長	297ミリ	カスタム用紙サイズの用紙長さのデフォルト値を設定します。

● PCL設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
使用フォント	内蔵フォント	使用するフォントの場所を指定します。
フォントNo.	I0	使用するフォントの番号を指定します。指定可能な範囲：I0～I90
フォントピッチ	10.00 CPI	フォントの幅を設定します。指定可能な範囲：0.44～99.99 CPI (0.01 CPI単位)
フォントサイズ	12.00 ポイント	フォントの高さを設定します。指定可能な範囲：4.00～999.75 ポイント (0.25 ポイント単位)
シンボルセット	WIN3.1 J	PCLのシンボルセットを選択します。
A4印字幅	78桁	A4用紙の自動改行の桁数を設定します。ただし、10CPIの文字で、自動復帰改行モードOFFの場合の数値です。
白紙ページ除外	オフ	空白ページを印刷するかを選択します。
CR動作	CR	CRコード受信時の本機の動作を設定します。
LF動作	LF	LFコード受信時の本機の動作を設定します。
印刷領域	ノーマル	用紙の印刷不可能領域を設定します。
イメージ黒選択	混合黒	イメージデータの黒（100%）に対して、コンポジットブラック（CMYK混色）を使用するか、純黒（Kのみ）を使用するかを設定します。
ペン幅補正	オン	PCLでの最小線幅が指定されたときに1dotで線を書くと切れて見える場合があります。その場合に、細い線を切れずに見えるように補正します。

項目	工場出荷時の設定値	説明
トレイ ID#	マルチパープストレイ	PCL5エミュレーションでの給紙先指定コマンド（ESC&I#H）において、マルチパープストレイ指定の#を設定します。
トレイ1	1	PCL5エミュレーションでの給紙先指定コマンド（ESC&I#H）において、トレイ1指定の#を設定します。
トレイ2	5	PCL5エミュレーションでの給紙先指定コマンド（ESC&I#H）において、トレイ2指定の#を設定します。本メニューは、トレイ2実装時のみ表示されます。
トレイ3	20	PCL5エミュレーションでの給紙先指定コマンド（ESC&I#H）において、トレイ3指定の#を設定します。本メニューは、トレイ3実装時のみ表示されます。
トレイ4	21	PCL5エミュレーションでの給紙先指定コマンド（ESC&I#H）において、トレイ4指定の#を設定します。本メニューは、トレイ4実装時のみ表示されます。

● プライベートジョブ印刷設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
ジョブ検証	無効	印刷前にジョブの検証を行うかを指定します。 有効にするとジョブが変更されていないことを検証した後に印刷を行います。ジョブの完全性が保証されますが、印刷開始までの時間が長くなります。
ジョブ消去	単純消去	ジョブを消去する方式を設定します。 消去後にデータの上書きを行って復元できないように指定することができます。 上書きを行なう場合は消去に時間がかかるようになります。 選択可能な値：単純消去/Ox00で1回上書き
ジョブの保存期間	2時間	ジョブの保存期間を設定します。 ジョブを保存してから、設定した期間を経過しても印刷されない場合、ジョブは自動的に消去されます。 選択可能な値：15分/30分/1時間/2時間/4時間/8時間/12時間/1日/2日/3日/4日/5日/6日/7日
ジョブ制限	無効	制限がかけられた印刷ジョブを保存するかどうかを設定します。 [プライベートのみ] を選択した場合、プライベートジョブ印刷以外のジョブは受け付けません。
ジョブパスワード検証	オフ	アクセス制限が有効のとき、ジョブパスワードを検証するかどうかを選択します。
ジョブ自動検索	オン	アクセス制限が有効のとき、パネルロック解除と同時にジョブ検索を行うかどうかを選択します。

● カラー設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
UCR	少ない	下色除去の度合いを調整します。
CMY100%濃度	無効	C、M、Y100%の出力にハーフトーンを使うかを選択します。

● パネル設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
ニアライフ時のステータス	有効	ニアライフワーニング発生時にメッセージを表示するかを設定します。
ニアライフ時のLED	有効	ニアライフワーニング発生時にLEDを点灯させるかを設定します。
用紙セット時用紙設定	オン	トレイの用紙サイズを確認するメッセージを表示する/しないを設定します。 [オン] にすると、マルチパーパストレイでは用紙を置いたときに、トレイ1～4では用紙カセットを抜いたときに、メッセージを表示します。
待機画面表示	トナーゲージ	待機画面に表示する情報を選択します。
パネルコントラスト	0	操作パネルの液晶パネルのコントラストを調整します。 指定可能な値: -10～0
タッチキーキャリブレーション	実行	タッチキーの感度を調整します。キャリブレーション中にパネルを操作しないでください。

● ブザー設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
キー音量	小	キー操作時の音量を設定します。
エラー発生音	オフ	エラーが発生時のブザー音量を設定します。
印刷終了音	オフ	印刷終了時の音量を設定します。

● 時刻設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
日付の表示形式	yyyy/mm/dd	年/月/日の表示順を設定します。
タイムゾーン	+09:00	GMTを基準とするタイムゾーンを設定します。 指定可能な範囲: -12:00 ~ +13:00 (15分単位)
夏時間	オフ	夏時間（サマータイム）の設定をします。
設定方法	手動設定	時刻の設定方法を選択します。

項目	工場出荷時の設定値	説明
SNTPサーバー（プライマリー）	(空白)	現在の日付と時間を設定するのに使用するSNTPサーバーを設定します。最大64文字です。
SNTPサーバー（セカンダリー）	(空白)	設定方法が、[自動設定] のとき、表示されます。
時刻設定	2000/01/01	現在の日付と時間を手動で設定します。 設定方法が、[手動設定] のとき、表示されます。

● 電力設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
オートパワーオフ	自動設定	オートパワーオフの動作を設定します。 自動設定：ネットワーク接続（有線/無線）していると、オートパワーオフしません。 有効：接続方法によらず、オートパワーオフします。 無効：オートパワーオフしません。
ピーク電力制御	オフ	[オン] にすると、プリンターの最大消費電力を抑えるように動作します。ただし、起動時間が長くなったり最大印刷速度が低下する場合があります。

● トレイ設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
表示単位	ミリメートル	カスタム用紙サイズの表示単位(ミリメートル/インチ)を設定します。
デフォルト用紙サイズ	A4	カスタム用紙サイズの初期用紙サイズを設定します。

● その他設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
給紙ローラーカウンタクリア	マルチパーパストレイクリア	マルチパーパストレイの給紙ローラーを交換したとき、カウンターをクリアします。
	トレイ1クリア	トレイ1の給紙ローラーを交換したとき、カウンターをクリアします。
	トレイ2クリア	トレイ2の給紙ローラーを交換したとき、カウンターをクリアします。
	トレイ3クリア	トレイ3の給紙ローラーを交換したとき、カウンターをクリアします。
	トレイ4クリア	トレイ4の給紙ローラーを交換したとき、カウンターをクリアします。
フォント設定	JIS2004字体モード	フォントの出力モードを設定します。

項目	工場出荷時の設定値	説明
ジョブキャンセル設定	キャンセルボタンの動作	短い キャンセルボタンを押したときの動作を設定します。 短い：短押下（2秒以下）でジョブをキャンセルします。 長い：2～5秒間押すと、ジョブをキャンセルします。 オフ：キャンセルボタンを押しても、ジョブをキャンセルしません。
	問い合わせの表示	オン ジョブをキャンセルしたとき、キャンセルするかを確認する画面を表示する／しないを設定します。
	フォーカスの位置	はい ジョブキャンセル問い合わせ画面で選択肢の、[はい]、[いいえ]のどちらをデフォルトにするか、設定します。
	表示タイムアウト	180 ジョブキャンセル問い合わせ画面で、ボタンを押すまでの待ち時間を設定します。待ち時間が過ぎると、ジョブはキャンセルされずに印刷されます。
ニアライフ設定	ドラムニアライフタイミング	3000 イメージドラムの寿命が近づいたことを、寿命の何カウント前に表示するかを設定します。 指定可能な範囲：500～5,000（500カウント単位）
	定着器ニアライフタイミング	2500 定着器ユニットの寿命が近づいたことを、寿命の何カウント前に表示するかを設定します。 指定可能な範囲：500～5,000（500カウント単位）
	ベルトニアライフタイミング	2000 ベルトユニットの寿命が近づいたことを、寿命の何カウント前に表示するかを設定します。 指定可能な範囲：500～5,000（500カウント単位）

● 設定値

項目	工場出荷時の設定値	説明
出荷時に戻す	実行	ユーザーが変更したメニュー設定を工場出荷時の状態に戻します。
設定の保存	実行	現在のメニュー設定を保存します。すでに保存されていたメニュー設定は上書きされます。
設定の呼び出し	実行	保存しているメニュー設定に変更します。

● パスワード変更

項目	工場出荷時の設定値	説明
新しいパスワード	-	新しい管理者用パスワードを入力します。
パスワードの再入力	-	確認のために、もう一度新しい管理者用パスワードを入力します。

その他設定のメニュー

管理者メニュー以外のユーザーメニューへの入り方と機能を説明します。

- 1 操作パネルのスクロールボタン▼を押して設定を変更したいメニューを表示します。
- 2 《設定》を押します。
- 3 ▲または▼を押して設定値を変更します。
- 4 《設定》を押します。
- 5 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。

● プリント

項目	説明
共有ジョブ印刷	共有ジョブがあるとき表示されます。ファイルを選択して、パスワードを入力し、印刷します。
プライベートジョブ印刷	プライベートジョブがあるとき表示されます。ファイルを選択して、パスワードを入力し、印刷します。

● プリンター情報

項目	説明
印刷枚数	マルチパーパストレイ 各トレイの総印刷枚数を表示します。
	トレイ1 トレイ2～4は、オプションの増設トレイを実装しているとき表示します。
	トレイ2
	トレイ3
	トレイ4
給紙ローラーカウンター	マルチパーパストレイ 各トレイから給紙した枚数を表示します。
	トレイ1 給紙ローラーを交換したとき、管理者メニューからクリアします。
	トレイ2
	トレイ3
	トレイ4
A4/レター換算カウンター	カラーカウント カラー印刷枚数をA4/レター用紙に換算した値を表示します。
	モノクロカウント モノクロ印刷枚数をA4/レター用紙に換算した値を表示します。

項目	説明
消耗品 残量	シアントナー (n.nK) * マゼンタトナー (n.nK) * イエロートナー (n.nK) * ブラックトナー (n.nK) * シアンドラム マゼンタドラム イエロードラム ブラックドラム ベルト 定着器
	各色のトナーの残量 (%) を表示します。 *:取り付けているトナーの種類によって、数値が変わります。
	各色のイメージドラムの残り寿命 (%) を表示します。
ネットワーク	ネットワーク基本情報 この下の、「プリンター情報 - ネットワーク」をご覧ください。
システム情報	プリンターシリアル番号 プリンターマネージャー番号 ロット番号 ファームウェアバージョン CU バージョン PU バージョン パネル バージョン RAM 情報 フラッシュメモリー情報 日付と時刻
	プリンターのシリアルナンバーを示します。
	プリンターの管理番号を示します。
	プリンターのロット番号を示します。
	ファームウェアバージョンを示します。
	CU (Control Unit) ファームウェアバージョンを示します。
	PU(Print Unit) ファームウェアバージョンを示します。
	操作パネルのファームウェアバージョンを示します。
	装置に搭載されているすべてのRAMのサイズを合計した値を示します。
	装置に搭載されているすべてのフラッシュメモリーのサイズを合計した値を示します。

• プリンター情報 - ネットワーク

項目	説明
ネットワーク基本情報	プリンターナー名 ショートプリンターナー名 IPv4 アドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス MAC アドレス NIC プログラムバージョン Web Remote バージョン IPv6 アドレス (ローカル) IPv6 アドレス (ステートレス) IPv6 アドレス (ステートフル)
	プリンターナー名を表示します。 ショートプリンターナー名を表示します。 有線ネットワークI/FのIPアドレスを表示します。 サブネットマスクを表示します。 [有効なデフォルトゲートウェイ] が [有線] に設定されているとき、ゲートウェイアドレスを表示します。 有線ネットワークI/FのMACアドレスを表示します。 ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。 プリンターのWebページのバージョンを表示します。 IPv6アドレス（ローカル）を表示します。 IPv6アドレス（ステートレス）を表示します。 IPv6アドレス（ステートフル）を表示します。

• プリンター情報印刷

項目	説明
メニュー マップ	プリンターの設定状況を印刷します。
ネットワーク	ネットワークの設定値を印刷します。
クリーニング	A4 サイズの用紙に、シアン/マゼンタ/イエローの 100%でベタ印刷を各色 1 枚、計 3 枚印刷します。
PCL フォントリスト	PCL フォントのサンプルを印刷します。
印刷集計結果	印刷集計結果を印刷します。
消耗品レポート	消耗品の残り寿命などの情報を印刷します。
エラーログ	エラーのログを印刷します。
カラープロファイルリスト	プリンターに登録されているカラープロファイルのリストを印刷します。
ジョブ履歴	印刷ジョブの履歴を印刷します。
CMYK テスト 1	各色のテスト印刷を行います。

●メニュー

- メニュー > トレイ構成

項目	工場出荷時の設定値	説明
マルチバーパストレイ設定	用紙サイズ	A4横
	用紙幅	210mm
	用紙長	297mm
	用紙種類	普通紙
	用紙厚	普通紙
	トレイの使い方	用紙違いの時
トレイ1設定	用紙サイズ	カセットサイズ
	用紙幅	210mm
	用紙長	297mm
	用紙種類	普通紙
	用紙厚	普通紙
	リーガル用紙	リーガル14
	その他 定型	16K (184×260 mm)
トレイ2/3/4設定* *オプションの増設トレイを取り付けたとき表示されます。	用紙サイズ	カセットサイズ
	用紙幅	210mm
	用紙長	297mm
	用紙種類	普通紙
	用紙厚	普通紙
	リーガル用紙	リーガル14
	その他 定型	16K (184×260 mm)
給紙トレイ	トレイ1	給紙トレイを指定します。
自動トレイ切替	オン	自動トレイ切替機能を使う/使わないを設定します。
トレイ選択順序	下方向	自動トレイ選択/自動トレイ切替時、トレイを選択する順序を指定します。
両面最終ページ	白紙スキップ	奇数ページのジョブを両面印刷したとき、最終ページを片面印刷する/しないを設定します。

- メニュー > システム設定

項目	工場出荷時の設定値	説明
パワーセーブ移行時間	1分	省電力モードへ移行するまでの時間を設定します。 指定可能な範囲: 1分、2分、3分、4分、5分、10分、15分、30分、60分
スリープ移行時間	15分	省電力モードからスリープモードへ移行するまでの時間を設定します。 指定可能な範囲: 1分、2分、3分、4分、5分、10分、15分、30分、60分
オートパワーオフ移行時間	4時間	待機状態になってから自動的に電源を切るまでの時間を設定します。 指定可能な範囲: 1時間、2時間、3時間、4時間、8時間、12時間、18時間、24時間
静音モード	オン	スリープモードから待機モードへ移行したときの印刷準備動作を指定します。 [オン] : 印刷準備を行わないで静かです。 [オフ] : 印刷準備を行うのでイメージドラムの回転音がしますが、最初の印刷開始時間が早くなります。
アラーム解除	オンライン	復旧可能なエラー表示を消去するタイミングを設定します。
エラー自動解除	オフ	メモリーオーバーフロー、トレイリクエストが発生したとき、自動的に本機を復旧させるか否かを設定します。
マニュアルタイムアウト	60秒	手差し印刷時、用紙をセットするまでの待ち時間を設定します。 指定可能な範囲: オフ、30秒、60秒
タイムアウト印刷	40秒	データを受信しなくなつてから強制的に印刷 (PSではキャンセル) するまでの時間を設定します。 指定可能な範囲: オフ、5秒、10秒、20秒、30秒、40秒、50秒、60秒、90秒、120秒、150秒、180秒、210秒、240秒、270秒、300秒
タイムアウトローカル	40秒	作業終了後、各ポートを開いておく時間を設定します。 (ネットワークは除きます) 0秒から5秒単位で300秒まで設定可能です。
タイムアウトネットワーク	90秒	作業終了後、ネットワークポートを開いておく時間を設定します。 0秒から5秒単位で300秒まで設定可能です。
トナーロード時の印刷	継続	[トナーの交換時機が近づいています] を表示したときの本機の動作を設定します。 [中止] にしたときはオフラインになります。 トナーの交換後、オンラインになると印刷は再開されます。

項目	工場出荷時の設定値	説明
カラートナー無し時の印刷モード	アラーム	カラートナーが無くなったときの動作を設定します。 [アラーム] : カラー印刷ジョブを印刷せず、装置は停止します。 無くなったトナーを新しいものに交換してください。 [キャンセル] : カラー印刷ジョブを自動的にキャンセルします。 無くなったトナーを新しいものに交換してください。
ジャムリカバー	オン	紙づまりが解消された後、紙づまりで印刷されなかつたページを再度印刷するかを設定します。 [オフ] にしたときは紙づまりが発生したページを含むジョブの印刷処理をキャンセルします。
エラーレポート	オフ	内部エラーが発生したとき、エラーの詳細を印刷するかを設定します。
ヘキサダンプ	実行	パソコンから受信したデータを16進ダンプで印刷します。このモードから抜けるには、電源を切ります。

• メニュー > プリント調整

項目	工場出荷時の設定値	説明
普通紙ブラック設定	0	普通紙/ブラック印刷の印刷結果に、かすれなどが顕著に発生する場合の微調整を使用します。高密度印刷部で、散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は値を小さくします。印刷がかずれるような場合には値を大きくします。±2の範囲で調整します。
普通紙カラー設定	0	普通紙/カラー印刷の印刷結果に、かすれなどが顕著に発生する場合の微調整を使用します。高密度印刷部で、散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は値を小さくします。印刷がかずれるような場合には値を大きくします。±2の範囲で調整します。
特殊用紙2ブラック設定	0	特殊用紙2/ブラック印刷の印刷結果に、かすれなどが顕著に発生する場合の微調整を使用します。高密度印刷部で、散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は値を小さくします。印刷がかずれるような場合には値を大きくします。±2の範囲で調整します。
特殊用紙2カラー設定	0	特殊用紙2/カラー印刷の印刷結果に、かすれなどが顕著に発生する場合の微調整を使用します。高密度印刷部で、散ったような印刷あるいは雪がふったような印刷が発生した場合は値を小さくします。印刷がかずれるような場合には値を大きくします。±2の範囲で調整します。
SMR設定	シアン マゼンタ イエロー ブラック	温湿度環境および印刷濃度/印刷頻度の差による印字のばらつきを色ごとに補正します。画質にむらがある場合に値を変更します。±3の範囲で調整します。
BG設定	シアン マゼンタ イエロー ブラック	温湿度環境および印刷濃度/印刷頻度の差による印字のばらつきを色ごとに補正します。下地が濃い場合に値を変更します。±3の範囲で調整します。
HU設定	オフ	長期間放置による汚れを除去するモードを設定します。
ドラムクリーニング	オフ	横方向に白いすじが出る場合に、印刷前にドラムを空まわしするかどうかを設定します。オンにすると、ドラム寿命が空まわし分短くなります。

• メニュー > プリント調整 > 印刷位置補正

項目	工場出荷時の設定値	説明
マルチパーパストレイ	X補正 Y補正	それぞれのトレイの印刷位置を調整します。 ● X補正:印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向に補正します。 指定可能な範囲: ±2.00ミリ (0.25ミリ単位)
	0ミリ	● Y補正:印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に補正します。 指定可能な範囲: ±2.00ミリ (0.25ミリ単位)
	0ミリ	● 両面印刷X補正:両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージの位置を用紙の走行方向に直角に補正します。 指定可能な範囲: ±2.00ミリ (0.25ミリ単位)
	0ミリ	● 両面印刷Y補正:両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージの位置を用紙の走行方向に補正します。 指定可能な範囲: ±2.00ミリ (0.25ミリ単位)
トレイ1	X補正 Y補正	トレイ2/3/4は、増設トレイを装着したとき表示されます。
	0ミリ	
	0ミリ	
	0ミリ	
トレイ2/3/4	両面印刷X補正 両面印刷Y補正	
	0ミリ	
	0ミリ	
	0ミリ	

項目	工場出荷時の 設定値	説明
多湿制御	オフ	<p>湿度が高いときに用紙を排出すると、用紙にカールがかかることがあります。この設定を【モード1】または【モード2】に設定すると、カールが少くなります。</p> <p>◆モード1/モード2について：</p> <p>モードオフに対して、用紙カールを低減したい場合のモードです。【モード1】で用紙カールの低減効果が得られない場合は【モード2】を試してください。【効果：オフ<モード1<モード2】</p> <p><使用上の注意></p> <ul style="list-style-type: none"> • ウォームアップ時間がオフ時より長くなり、印刷時間が長くなります。【印刷時間：オフ<モード1<モード2】 • 「モード1～2」に設定した場合、処理が変わるためにイメージドラムの寿命が短くなります。
結露制御	オフ	<p>結露制御の有効/無効を設定します。</p> <p>【モード1】または【モード2】に設定すると、高湿時に用紙が吸湿し、用紙先端が濡れることを抑えることができます。1ページ目の印刷完了に時間がかかることがあります。</p>
幅狭用紙速度	モード1	<p>幅狭用紙を使用したときの印刷速度を設定します。</p> <p>◆モード1について：</p> <p>幅狭紙（幅216mm以下）を大量に印刷する際に推奨するモードです。</p> <p><使用上の注意></p> <p>幅狭紙印刷時に速度を低速に切り替えます（対象用紙厚さ：薄い紙～厚い紙）。</p> <p>◆モード2について：</p> <p>幅狭紙を少量に印刷する際に推奨するモードです。幅狭紙印刷時に速度を落とさずに印刷します。</p> <p><使用上の注意></p> <p>幅狭紙を大量印刷時に、用紙間で定着温度調整のための待ち時間が入りやすくなります。</p> <p>◆モード3について：</p> <p>幅狭紙を大量印刷後に幅広用紙を印刷した際に生じる可能性のある用紙端部の印刷不良を軽減させるモードです。</p> <p><使用上の注意></p> <p>幅狭紙から幅広紙へ切り替えて印刷する際に定着温度調整のための待ち時間が入ります。</p> <p>幅狭紙印刷時に速度を低速に切り替えます（対象用紙厚さ：薄い紙～厚い紙）。</p>
薄紙ケアモード	オフ	<p>薄い紙がシワになるとき、オンにすると、シワやカールが軽減される場合があります。ただし、印刷速度は遅くなります。（対象用紙厚さ：薄い紙）</p>

● プリンター調整

項目	工場出荷時の 設定値	説明
自動濃度補正モード	オン	カラー印刷の濃度補正・階調補正を自動で行うかを設定します。
濃度補正	実行	濃度補正を直ちに行いたいとき、実行します。
色ずれ補正	実行	色ずれ補正を直ちに行いたいとき、実行します。
濃度設定	シアン濃度 マゼンタ濃度 イエロー濃度 ブラック濃度	それぞれの色ごとに、印刷の濃さを設定します。±3の範囲で調整します。+方向に変更すると印刷結果が濃くなり、-方向に変更すると印刷結果が薄くなります。
カラー調整パターン印刷	印刷実行	濃度調整のためのパターンを印刷します。
シアン調整	Highlight Mid-Tone Dark	それぞれの色ごとに、ハイライト部（薄い領域）、中間部、ダーク部（濃い領域）の濃度を調整します。プラスは濃い方向、マイナスは薄い方向に調整されます。
マゼンタ調整	Highlight Mid-Tone Dark	濃度設定では調整しきれないような微調整に使用します。±3の範囲で調整します。
イエロー調整	Highlight Mid-Tone Dark	
ブラック調整	Highlight Mid-Tone Dark	

Boot Menu

プリンターのシステム設定を変更することができます。

プリンターのシステム管理者の方のみ使用してください。

[Boot Menu] モードに入るには、パスワードが必要です。

- 1 本機の電源を入れ、操作パネルに [PLEASE WAIT] と表示されたら《設定》を押します。

操作パネルに [Boot Menu] と表示されたら、指を離し、《設定》を押し直します。

- 2 テンキーから管理者パスワードを入力します。

工場出荷時は、管理者パスワード「aaaaaaa」が登録されています。

- 3 《設定》を押します。

- 4 スクロールボタン▲または▼を押して設定を変更したいメニューを選択し、《設定》を押します。

- 5 ▲または▼を押して設定値を変更します。

- 6 《設定》を押します。

- 7 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。

プリンターが再起動し、設定が変更されます。

• Boot Menu 説明項目

項目	工場出荷時の設定値	説明
Menu Lockout	Off	[On] にすると、管理者メニュー、ユーザーメニュー一覧を非表示にし、選択できなくします。ただし、プリント設定のみ表示されます。
Panel Lockout	Off	操作パネル上のボタン/キーを使用できなくします。 [Mode1]：オンライン、設定、キャンセル、節電、ヘルプ以外のすべてのキーを無効に設定します。 [Mode2]：オンライン、設定以外のすべてのキーを無効に設定します。 [Off]：操作パネル上のボタン/キーの操作を制限しません。

項目	工場出荷時の設定値	説明
After AC power supply fails	Always Off	停電などで電源供給が停止した際に、印刷できる状態に自動復旧するかを設定します。 ◆Always Onについて： 電源スイッチを押さなくても、電源が供給されると装置が強制的に立ち上がります。 <使用上の注意> 電源プラグをコンセントに接続しただけで、装置が立ち上がります。 ◆Always Offについて： 電源が供給されても、電源スイッチが押されるまで装置は立ち上がりません。 ◆Last Stateについて： 電源供給が遮断された状態を記憶し、電源供給が再開されるとその状態に戻ります。装置が立ち上がった状態で、停電などで電源供給が停止しても、電源供給が再開されると印刷できる状態に自動復旧します。電源OFF状態において、電源供給が停止後に電源供給が再開されても装置は立ち上がりません。

ブザーの設定をする

下記の場合のブザー音量を、3段階で調整できます。

- 操作パネルでボタンやキーを押したとき
- エラーが発生したとき
- 印刷ジョブが終了したとき

- 1** 操作パネルのスクロールボタン▼を数回押して [管理者用メニュー] を選択し、《設定》を押します。
- 2** テンキーから管理者パスワードを入力します。
工場出荷時は、管理者パスワード「aaaaaaa」が登録されています。
管理者パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。
- 3** 《設定》を押します。
- 4** ▼または▲を数回押して [ブザー設定] を選択し、《設定》を押します。
- 5** ▼または▲を数回押して変更したい項目を選択し、《設定》を押します。
- 6** 選択した項目の音量を調整し、《設定》を押します。
- 7** 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。

トレイ用紙サイズを確認するメッセージを非表示にする

トレイ1～4の用紙カセットを引き抜くかマルチパーパストレイに用紙を置くと、対応するトレイの [トレイ設定] が操作パネルに表示されます。

表示を消したい場合には以下の設定を行います。

- 1** 操作パネルのスクロールボタン▼を数回押して、[管理者用メニュー] を選択し、《設定》を押します。
- 2** テンキーから管理者パスワードを入力します。
工場出荷時は、管理者パスワード「aaaaaaa」が登録されています。
管理者パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。
- 3** 《設定》を押します。
- 4** ▲または▼を押して [パネル設定] を選択し、《設定》を押します。
- 5** [用紙セット時用紙設定] を選択し、《設定》を押します。
- 6** [オフ] を選択し、《設定》を押します。
- 7** 《オンライン》を押して、メニュー mode を終了します。

停電になったとき

電源が入った状態で停電になったとき、電源が復旧しても電源は入りません。

停電から復旧した際に、電源が自動で入る状態にしたい場合は、[Boot Menu] > [After AC power supply fails] で [Always On] または [Last State] に設定してください。

無停電電源（UPS）またはインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターは使用しないでください。



工場出荷時の設定では、停電になった場合、本機は次のように動作します。

本機の状態	動作
受信中	受信が途中で切れます。
レポート印刷中	プリントが途中で止まります。 停電が復旧したら、再度印刷してください。
待機中	印刷を開始できません。

初期化する

ここでは、本機に内蔵しているメモリーや各種設定を初期化する方法について説明します。

初期化は、プリンターに保存したデータや設定を削除して、プリンターを購入時の状態に戻したいときに行います。



- ・[管理者用メニュー] メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

- ・[フラッシュメモリーを初期化する](#)
- ・[ネットワーク設定を初期化する](#)
- ・[装置の設定を初期化する](#)

フラッシュメモリーを初期化する

フラッシュメモリーには、フォームデータなどが記憶されています。

以下の手順で初期化します。



- フラッシュメモリーを初期化すると、次のデータが削除されます。
 - [共有ジョブとして保存]、[プライベートジョブ印刷] のいずれかで保存されたデータ
 - フォームデータ

1 スクロールボタン▼を数回押して【管理者用メニュー】を選択し、《設定》を押します。

2 テンキーを使用して、管理者パスワードを入力し、《設定》を押します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

3 ▲または▼を数回押し、【その他設定】を選択し、《設定》を押します。

4 ▼を押して【フラッシュメモリー設定】を選択し、《設定》を押します。

5 【初期化】または【フォーマット】を選択し、《設定》を押します。

6 初期化の場合は《設定》を押します。

フォーマットの場合は、フォーマットするパーティションを選択し、《設定》を押します。



- メモリーの初期化は2通りの方法があります。
 - 【初期化】：フラッシュメモリーのオープンエリアの範囲（ファイルリストに表示）を初期化します。
 - 【フォーマット】：ユーザー情報を初期化します。

7 【実行しますか？】と表示されたら、【はい】を選択して、《設定》を押します。

初期化を取りやめる場合は、ここで【いいえ】を選択します。

8 【すぐに実行しますか？】と表示されたら、【はい】を選択して、《設定》を押します。

プリンターが再起動し、メモリーが初期化されます。



- 【すぐに実行しますか？】で【いいえ】を選択すると、通常のメニュー表示に戻りますが、初期化がキャンセルされたのではありません。次に電源を入れたとき、初期化を実行します。

ネットワーク設定を初期化する

初期化するとネットワーク設定が工場出荷時の状態に戻ります。



- この操作を行うと、すべてのネットワーク設定が初期化されます。

1 スクロールボタン▼を数回押して【管理者用メニュー】を選択し、《設定》を押します。

2 テンキーを使用して、管理者パスワードを入力し、《設定》を押します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

3 【ネットワーク設定】が選択されていることを確認し、《設定》を押します。

4 ▼を数回押して【工場出荷時設定】を選択し、《設定》を押します。

5 【実行】が選択されていることを確認し、《設定》を押します。

6 《オンライン》を押し、待機画面に戻ります。

装置の設定を初期化する

装置の設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。



- 装置の設定を初期化すると、以下のデータが工場出荷時の設定に戻ります。
 - [メニュー] 設定
 - [管理者用メニュー] 設定
 - [プリンターアクセス] 設定

- 1 スクロールボタン▼を数回押して [管理者用メニュー] を選択し、《設定》を押します。
- 2 テンキーを使用して、管理者パスワードを入力し、《設定》を押します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。
- 3 ▼を数回押して [設定値] を選択し、《設定》を押します。
- 4 [出荷時に戻す] が選択されていることを確認し、《設定》を押します。
- 5 [実行] が選択されていることを確認し、《設定》を押します。

Webページ (FUJITSU Printer Internet Service)

本機のネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

- Webページでできること
- 本機のWebページを開く
- 管理者としてログインする
- 管理者のパスワードを変更する (Webページ)
- 本機の状態を確認/変更する
- 装置の設定情報 (メニューマップ) をデータとして保存する
- パワーセーブモードを設定する (Webページ)
- スリープモードを設定する (Webページ)
- オートパワーオフを設定する (Webページ)
- 通信を暗号化する (SSL/TLS)
- IPPを使用する
- 通信を暗号化する (IPSec)
- IPアドレスでのアクセス制限機能 (IPフィルター) を使用する
- MACアドレスでのアクセス制限機能を使用する
- Eメールアラート
- SNMPv3を使用する
- IEEE802.1Xを使用する
- Eメールの設定 (Webページ)
- Webページの設定項目

Webページでできること

本機のWebページから、次の操作を実行できます。

- 本機の状態を表示する
- トレイ、ネットワーク、機能の初期設定、プリンターの設定をする
- ジョブの一覧を表示する
- 頻繁に使用するWebページにリンクする



- Webページでプリンターの設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

本機のWebページを開く



- お使いのブラウザーの設定が以下のようになっているか確認してください。
- Webページのセキュリティー設定を中レベルに設定するか、Cookieを有効にしてください。
- [管理者設定] メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。
- Webページで本機の設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

- 装置のIPアドレス：192.168.0.2

1 Webブラウザーを起動します。

2 アドレスバーにURL 「http:// (本機のIPアドレス)」 を入力し、<Enter>キーを押します。

本機のIPアドレスについては「プリンターの動作を確認する（メニューマップ印刷）（ハードウェアガイド）」をご覧ください。



- IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
 - 正しい入力例：http://192.168.0.2/
 - 誤った入力例：http://192.168.000.002/

管理者としてログインする

Web ブラウザーで本機の設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

1 [管理者のログイン] をクリックします。

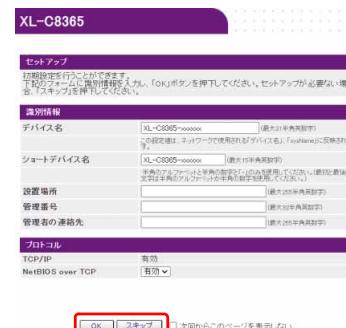


2 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、[ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



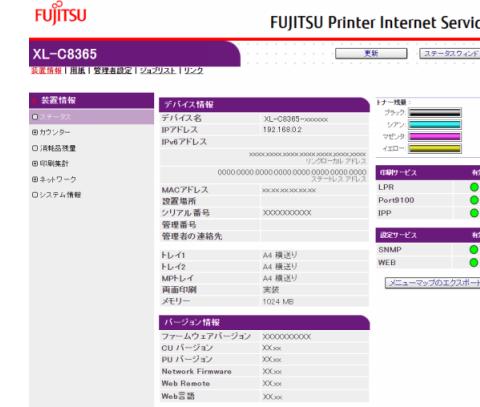
- パスワードは操作パネルの「管理者パスワード」と同様です。
- 工場出荷時の管理者パスワードは「aaaaaa」です。管理者パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

3 ネットワーク上で確認できるプリンター情報を設定し、[OK] または [スキップ] をクリックします。



- [スキップ] をクリックすると、設定を省略できます。
- [次回からこのページを表示しない] にチェックを付けて、[OK] または [スキップ] をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

4 下の画面が表示されます。



管理者のパスワードを変更する (Webページ)

Webページから、本機の管理者パスワードを変更できます。Webページで指定する管理者パスワードは、操作パネル、またはWebページから本機にログインするときに使用されます。

1 本機のWebページを開きます。

本機のWebページを開く

2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [機器管理] > [管理者パスワード] を選択します。

5 [新しいパスワード] に、新しいパスワードを入力します。



- 設定したパスワードはメモするなどして忘れないようにしてください。
- 管理者パスワードは、設定を変更するときなどに使用します。
- 管理者パスワードを忘れると【管理者設定】や【簡易設定】が変更できなくなります。



- パスワードは英数字6文字以上12文字以内まで入力できます。
- パスワードは大文字／小文字が区別されます。

6 [新しいパスワードの再入力] に、新しいパスワードを再度入力します。

入力したパスワードは表示されません。パスワードを書き留めて、安全な場所で管理してください。

7 [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。



- 本機を再起動する必要はありません。次回、管理者としてログインするときは、新しいパスワードを使用します。

本機の状態を確認/変更する



- お使いのブラウザーのセキュリティー設定を中レベルに設定するか、Cookieを有効にしてください。
- 【管理者設定】メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。
- Webページで本機の設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。
- ネットワーク設定について

LANケーブルで接続する (ハードウェアガイド)

USBケーブルで接続する (ハードウェアガイド)

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

・装置のIPアドレス：192.168.0.2

本機の状態を確認する

1 本機のWebページを開きます。

本機のWebページを開く

2 管理者としてログインします。

3 下の画面が表示されます。

本機の消耗品残量や印刷集計、ネットワークやシステム情報を確認できます。

The screenshot shows the FUJITSU Printer Internet Service interface for the XL-C3835 printer. The top navigation bar includes links for '設定情報' (Setting Information), '状態' (Status), '管理者設定' (Administrator Settings), 'ファームウェア' (Firmware), and 'リンク' (Links). The main content area is divided into several sections:

- 装置情報 (Device Information):** Displays the printer's name (XL-C3835), IP address (192.168.0.2), and MAC address (xxxxxx-xxxx-xxxx).
- デバイス情報 (Device Information):** Shows the printer's model (XL-C3835), serial number (xxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx), and various connection details like LPR, Port9100, and IPP.
- ドライバーアクセス (Driver Access):** Lists available drivers for the printer.
- 通信サービス (Communication Services):** Shows the status of SNMP and WEB services.
- バージョン情報 (Version Information):** Provides details about the printer's firmware and software versions.

本機の設定を変更する

Webページから、プリンターの設定を変更できます。

- 1 本機のWebページを開きます。

本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 設定を変更し、[送信] をクリックします。

本機の設定を以下のタブから変更できます。

● 用紙

各トレイの用紙サイズや用紙種類を設定できます。

● 管理者設定

● ジョブリスト

● リンク

● ユーザー管理

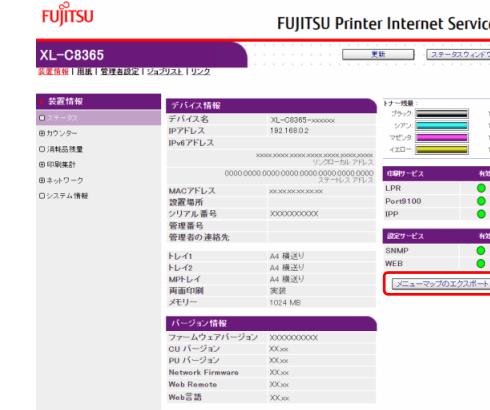
装置の設定情報（メニュー・マップ）をデータとして保存する

本機の設定状況や、消耗品・メンテナンス品の使用状況をCSVファイルとして保存できます。

- 1 本機のWebページを開きます。

本機のWebページを開く

- 2 [メニュー・マップのエクスポート] をクリックします。



- 3 名前を付けて保存します。

パワーセーブモードを設定する (Webページ)

パワーセーブモードに入るまでの時間を設定します。

- 1 本機のWebページを開きます。

 [本機のWebページを開く](#)

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] をクリックします。

- 4 [機器管理] > [節電モード] をクリックします。

- 5 [パワーセーブ移行時間] から移行時間を選択し、[送信] をクリックします。

スリープモードを設定する (Webページ)

スリープモードに入るまでの時間を設定します。

- 1 本機のWebページを開きます。

 [本機のWebページを開く](#)

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] をクリックします。

- 4 [機器管理] > [節電モード] をクリックします。

- 5 [スリープ移行時間] から移行時間を選択し、[送信] をクリックします。

オートパワーオフを設定する (Webページ)

オートパワーオフを設定できます。

オートパワーオフを有効にする

- 1 本機のWebページを開きます。

 本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] をクリックします。

- 4 [運用初期設定] > [電力設定] をクリックします。

- 5 [オートパワーオフ] から [有効] を選択し、[送信] をクリックします。

移行時間を設定する

- 1 本機のWebページを開きます。

 本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] をクリックします。

- 4 [機器管理] > [節電モード] をクリックします。

- 5 [オートパワーオフ移行時間] から [移行時間] を選択し、[送信] をクリックします。

通信を暗号化する (SSL/TLS)

パソコンと本機との間の通信を暗号化できます。以下の場合に、通信がSSL/TLSで暗号化されます。本機にはあらかじめ証明書がインストールされており、HTTPSを使用した通信ができます。

証明書を作成する

ネットワークに接続した本機にデータを送信するときに証明書を使うことができます。Webページを使って証明書を作成する方法について説明します。

以下の2種類の証明書を作成できます。

- **自己署名証明書**

本機が自身で発行する証明書です。

- **認証局発行証明書**

本機で作成したCSR（証明書署名要求）に対して、外部の認証局で署名され発行された証明書です。



- 証明書を作成する前に、すでにインストールされている証明書が削除されていることを確認してください。
- 証明書の [Common Name] にIPアドレスを設定した場合、証明書の作成後にプリンターのIPアドレスを変更すると、証明書は無効になります。証明書を再度作成してください。

- 1 本機のWebページを開きます。

 本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] を選択します。

- 4 [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [暗号化(SSL/TLS)] を選択します。



- すでにインストールされている証明書を削除するには、[証明書削除] をクリックします。

- 5 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

6 設定を確認し、[OK] をクリックします。

- 自己署名証明書の場合は、画面の指示に従ってWebページを閉じ、「[暗号化設定を有効にする](#)」に進みます。
- 認証局により発行される証明書を取得する場合は、手順7に進みます。

7 画面の指示に従って、CSRを認証局に送信します。

8 [OK] をクリックします。

9 画面の指示に従って、認証局からの証明書をインストールします。

10 [送信] をクリックします。

「[暗号化設定を有効にする](#)」に進みます。

証明書とプライベートキーをインポートする

Webページから証明書とプライベートキーをインポートする方法について説明します。

外部の認証局で発行された証明書を使用するために、発行済みの証明書とプライベートキーをインポートすることもできます。

1 本機のWebページを開きます。

 [本機のWebページを開く](#)

2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [暗号化(SSL/TLS)] を選択します。

5 [証明書と秘密鍵をインポートして使用する] を選択して証明書をインポートします。



- PKCS#12形式の証明書をインポートできます。

「[暗号化設定を有効にする](#)」に進みます。

暗号化設定を有効にする

証明書を作成後、暗号化設定を有効化することができます。Webページを使って暗号化を有効にする方法を説明します。

暗号化を有効になると、Webページから設定を変更した直後の通信から暗号化されます。

1 本機のWebページを開きます。

 [本機のWebページを開く](#)

2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [暗号化(SSL/TLS)] を選択します。

5 暗号化を適用したいプロトコルに対して [有効] を選択します。

6 [送信] をクリックします。

証明書をエクスポートする

Webページから証明書をエクスポートする方法について説明します。

SSL/TLSによる通信を行う機能によっては、パソコンが本機の証明書を信頼する必要があります。

パソコンが本機の証明書を信頼するためには、エクスポートした本機の証明書をパソコンの信頼する証明書ストアにインポートします。

1 本機のWebページを開きます。

 [本機のWebページを開く](#)

2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [暗号化(SSL/TLS)] を選択します。

5 [証明書のエクスポート] を選択して証明書をエクスポートします。



- 証明書はPEM形式でエクスポートされます。

IPPを使用する

本機をIPPプリンターとしてパソコンに追加します。

IPPプリンターとしてパソコンに追加すると、印刷ジョブのデータをインターネット経由でプリンターに送信することができます。

- 1** 「プリンターフォルダー」を開き、[プリンターの追加] を選択します。
- 2** [プリンターの追加] ウィザードで、[ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します] を選択します。
- 3** 使用可能なプリンターの一覧で、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] を選択します。
- 4** [共有プリンターを名前で選択する] を選択します。
- 5** 「http:// (本機のIPアドレス) /ipp」または「http:// (本機のIPアドレス) /ipp/lp」を入力し、[次へ] をクリックします。
- 6** [ディスク使用] をクリックします。
- 7** 付属の「FUJITSU Printerプリントユーティリティ」をパソコンに挿入します。
CD-ROM ドライブのないパソコンの場合は、ホームページからダウンロードしたドライバーソフトウェアファイルをダブルクリックして、解凍しておきます。
- 8** [製造元のファイルのコピー元] に、プリンタードライバーが格納されている[D:¥Fjxldrv¥WIN] (CD-ROM ドライブがD:の場合) を入力し、[参照] をクリックします。
- 9** INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- 10** [OK] をクリックします。
- 11** モデルを選択し、[OK] をクリックします。
- 12** [次へ] をクリックします。
- 13** [完了] をクリックします。
- 14** インストールが終了したら、テストページを印刷します。

通信を暗号化する (IPSec)

パソコンと本機との間の通信を暗号化できます。

通信をIPSecで暗号化します。IPSecが有効になっているときは、すべてのアプリケーションがIPSecを使って暗号化されます。

IPアドレスで50件のホストを指定できます。登録されていないホストからの本機へのアクセスは拒否されます。登録されていないホストにアクセスしようとしても、無効になります。

あらかじめ本機を設定してから、パソコンの設定をしてください。



- あらかじめ事前共有キーを用意する必要があります。

本機の設定をする

IPSecを有効にするには、先にWebページを使って本機を設定する必要があります。



- IPSecを有効にすると、この手順で指定されていないホストとの通信は拒否されます。
- プリンターとホストにIPSecの設定をした場合にIPSec通信をします。ホストにIPSecの設定をしていない場合、IPSec通信しません。
- この手順で指定した値はメモを取って忘れないようにしてください。パソコンでIPSec設定を行うときに必要です。

- 1** 本機のWebページを開きます。



- 2** 管理者としてログインします。

- 3** [管理者設定] を選択します。

- 4** [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [IPSec] を選択します。

- 5** 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。



- 「Phase2 Proposal」の設定では、[AH] または[ESP] のいずれかを有効にする必要があります。

- 6** [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。



- 指定したパラメーターの不整合によりIPSecをセットアップできなかった場合は、Webページにアクセスできません。この場合は、本機の操作パネルからIPSecを無効にするか、ネットワーク設定を初期化してください。

[「パソコンの設定をする」](#)に進みます。

パソコンの設定をする

次に、パソコンにIPSecを設定します。

以下の手順に従い、すべての手順を順番どおりに行ってください。

IPセキュリティポリシーを作成する

- 1 [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] を選択します。
- 2 [ローカルセキュリティポリシー] をダブルクリックします。
- 3 [ローカルセキュリティポリシー] ウィンドウで、[IPセキュリティポリシー(ローカルコンピューター)] をクリックします。
- 4 [操作] メニューから [IPセキュリティポリシーの作成] を選択します。
- 5 [IPセキュリティポリシー ウィザード] で、[次へ] をクリックします。
- 6 [名前] と [説明] を入力し、[次へ] をクリックします。
- 7 [既定の応答規則をアクティブにする(以前のバージョンのWindowsのみ)] のチェックを外し、[次へ] をクリックします。
- 8 [プロパティを編集する] にチェックを付け、[完了] をクリックします。

キー交換を設定する

- 1 IPセキュリティポリシープロパティウィンドウで、[全般] タブを選択します。
- 2 [設定] をクリックします。
- 3 [キー交換の設定] ウィンドウで、[新しいキーを認証して生成する間隔] に値(分)を入力します。



- 「本機の設定をする」において「Phase1 Proposal」の設定で指定した [ライフタイム] と同じ値を指定します。[ライフタイム] は秒単位で指定しますが、この手順では分単位で値を入力してください。

4 [メソッド] をクリックします。

5 [キー交換のセキュリティメソッド] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

6 [整合性アルゴリズム]、[暗号化アルゴリズム]、および [Diffie-Hellmanグループ] を指定します。



- 「本機の設定をする」において「Phase1 Proposal」の設定時に [IKE暗号化アルゴリズム]、[IKEハッシュアルゴリズム]、および [Diffie-Hellmanグループ] で指定した値と同じ値を選択してください。

7 [OK] をクリックします。

8 [キー交換のセキュリティメソッド] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

9 [キー交換の設定] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

IPフィルターを設定する

- 1 IPセキュリティポリシープロパティウィンドウで、[規則] タブを選択します。
- 2 [追加] をクリックします。
- 3 [セキュリティの規則 ウィザード] で、[次へ] をクリックします。
- 4 [トンネルエンドポイント] 画面で、[この規則ではトンネルを指定しない] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 5 [ネットワークの種類] 画面で、[すべてのネットワーク接続] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 [IPフィルター一覧] 画面で、[追加] をクリックします。
- 7 [IPフィルター一覧] ウィンドウで、[追加] をクリックします。
- 8 [IPフィルター ウィザード] で、[次へ] をクリックします。
- 9 [IPフィルターの説明とミラー化のプロパティ] 画面で、[次へ] をクリックします。

10 [IP トラフィックの発信元] 画面で、[次へ] をクリックします。

11 [IP トラフィックの宛先] 画面で、[次へ] をクリックします。

12 [IP プロトコルの種類] 画面で、[次へ] をクリックします。

13 [完了] をクリックします。

フィルター操作を設定する

1 [IP フィルター一覧] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

2 [セキュリティの規則ウィザード] で、新しいIPフィルターをリストから選択し、[次へ] をクリックします。

3 [フィルター操作] 画面で、[追加] をクリックします。

4 [フィルター操作ウィザード] で、[次へ] をクリックします。

5 [フィルター操作名] 画面で、[名前] と [説明] を入力し、[次へ] をクリックします。

6 [フィルター操作の全般オプション] 画面で、[セキュリティのネゴシエート] を選択し、[次へ] をクリックします。

7 [IPsec をサポートしないコンピューターと通信中] 画面で、[セキュリティで保護されていない通信を許可しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

8 [IP トラフィック セキュリティ] 画面で、[カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。

9 [カスタム セキュリティ メソッドの設定] ウィンドウで設定をして、[OK] をクリックします。



- 「本機の設定をする」の「Phase2 Proposal」の設定時に、[ESP暗号化アルゴリズム]、[ESP認証アルゴリズム]、[AH認証アルゴリズム]、および [ライフタイム] で指定した値と同じ値を設定します。

10 [IP トラフィック セキュリティ] 画面で、[次へ] をクリックします。

11 [プロパティを編集する] にチェックを付け、[完了] をクリックします。

IPセキュリティポリシーを割り当てる

1 キー PFSを有効にしたい場合は、[フィルター操作プロパティー] ウィンドウで、[セッションキーの PFS (Perfect Forward Secrecy) を使う] にチェックを付けます。

2 IPSec通信をIPv6グローバルアドレスで行う場合は、[セキュリティで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPsec を使って応答] にチェックを付けます。

3 [OK] をクリックします。

4 新しいフィルター操作を選択し、[次へ] をクリックします。

5 [認証方法] 画面で、認証方法を選択し、[次へ] をクリックします。



- 「本機の設定をする」で事前共有キーを設定した場合には、[認証方法] 画面で「次の文字列をキー交換（事前共有キー）の保護に使う」を有効にし、事前共有キーを入力します。

6 [完了] をクリックします。

7 IPセキュリティポリシープロパティウィンドウで、[OK] をクリックします。

8 [ローカル セキュリティ ポリシー] ウィンドウで、新しいIPセキュリティポリシーを選択します。

9 [操作] メニューから [割り当て] を選択します。

10 新しいIPセキュリティポリシーの [ポリシーの割り当て] が [はい] と表示されていることを確認します。

11 [ローカル セキュリティ ポリシー] ウィンドウで、[X] をクリックします。

IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルター）を使用する

IPアドレスを使用して、本機へのアクセスを制御できます。指定されたIPアドレスからの設定または印刷を許可するかどうかを設定できます。工場出荷時の設定では、IPフィルタリングは無効になっています。



- 必ず正しいIPアドレスを指定してください。誤ったIPアドレスを指定すると、IPプロトコルを使って本機にアクセスできなくなります。
- IPフィルタリングを有効にすると、この設定で指定されていないホストへのアクセスは拒否されます。

1 本機のWebページを開きます。



2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [IP フィルタリング] を選択します。

5 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。



- [登録する管理者のIP アドレス] に何も登録されていない場合、指定されているIPアドレス範囲によっては本機にアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバーを使用している場合は、[あなたのホストのIP アドレス] と使用中のホストのIPアドレスが一致しないことがあります。

6 [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。



- IPフィルタリングには、IPv4のみ使用できます。

MACアドレスでのアクセス制限機能を使用する

MACアドレスを使用して、本機へのアクセスを制限できます。指定されたMACアドレスからのアクセスを許可したり、拒否したりできます。



- 必ず正しいMACアドレスを指定してください。誤ったMACアドレスを指定すると、ネットワークから本機にアクセスできなくなります。

1 本機のWebページを開きます。



2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [ネットワーク管理] > [セキュリティー] > [MAC アドレスフィルタリング] を選択します。

5 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。



- [登録する管理者のMAC アドレス] に何も登録されていない場合、指定されているMACアドレスによっては本機にアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバーを使用している場合は、[あなたのホストのMAC アドレス] と使用中のホストのMACアドレスが一致しないことがあります。

6 [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。



- 各アドレスに対して個別に、許可または拒否を指定することはできません。

Eメールアラート

この機能を使用するには、あらかじめ、メールサーバーの設定をしておきます。

 [Eメールの設定 \(Webページ\)](#)

エラーをメールで通知する

- 1 本機のWebページを開きます。
 [本機のWebページを開く](#)
- 2 管理者としてログインします。
- 3 [管理者設定] を選択します。
- 4 [ネットワーク管理] > [Eメール] > [アラート設定] を選択します。
- 5 [障害通知設定] に通知を受信するEメールアドレスを入力します。
- 6 入力したEメールアドレスの [設定] をクリックします。
通知条件を別のアドレスに適用したい場合は、[コピー] をクリックします。
- 7 [障害通知方法] で [障害発生時の通知] を選択して、[ステップ2へ] をクリックします。
- 8 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
通知を必要とするエラーや警告にチェックを付けると、エラーの発生と通知の送信の時間差を指定するウィンドウが表示されます。
- 9 [OK] をクリックします。
- 10 [現在の設定一覧参照] をクリックして現在の設定を確認し [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。
メインウィンドウで、最大2つのアドレスの現在の設定も確認できます。確認したいアドレスをリストボックスから選択します。
- 11 [送信] をクリックします。
新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。

エラーをメールで定期的に通知する

- 1 本機のWebページを開きます。
 [本機のWebページを開く](#)
- 2 管理者としてログインします。
- 3 [管理者設定] を選択します。
- 4 [ネットワーク管理] > [Eメール] > [アラート設定] を選択します。
- 5 [障害通知設定] に通知を受信するEメールアドレスを入力します。
- 6 入力したEメールアドレスの [設定] をクリックします。
通知条件を別のアドレスに適用したい場合は、[コピー] をクリックします。
- 7 [障害通知方法] で [定期的な通知] を選択して、[ステップ2へ] をクリックします。
- 8 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
- 9 [OK] をクリックします。
- 10 [現在の設定一覧参照] をクリックして現在の設定を確認し [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。
メインウィンドウで、最大2つのアドレスの現在の設定も確認できます。確認したいアドレスをリストボックスから選択します。
- 11 [送信] をクリックします。
新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。



- 通知対象のエラーが発生しなかった場合、通知メールは送信されません。

SNMPv3を使用する

SNMPv3に対応したSNMPマネージャーを使用すると、本機の管理をSNMPで暗号化できます。

- 1 本機のWebページを開きます。

 本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] を選択します。

- 4 [ネットワーク管理] > [SNMP] > [設定] を選択します。

- 5 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

- 6 [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。

IEEE802.1Xを使用する

本機はIEEE802.1X認証に対応しています。IEEE802.1X認証は、本機のWebページでIEEE802.1X認証を有効にし、認証スイッチに接続された後に行われます。

EAP-TLSを使用して設定する

IEEE802.1X認証の一つであるEAP-TLSの設定方法を説明します。

- 1 本機のWebページを開きます。

 本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] を選択します。

- 4 [ネットワーク管理] > [IEEE802.1X] を選択します。

- 5 [IEEE802.1X] で [有効] を選択します。

- 6 [EAPタイプ] の [EAP-TLS] を選択します。

- 7 [EAPユーザー] にユーザー名を入力します。

- 8 [SSL/TLS の証明書をEAP 認証に使用しない] を選択し、[インポート] をクリックします。

- 9 証明書のファイル名を入力します。

PKCS#12ファイルのみインポートできます。

- 10 証明書のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 11 [サーバーを認証する] を選択し、[インポート] をクリックします。

- 12 CA証明書のファイル名を入力し、[OK] をクリックします。

RADIUSサーバーの認証に使用する認証局 (CA) の証明書を指定します。PEM、DER、およびPKCS#7ファイルをインポートできます。

- 13 [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。

14 本機がオンライン状態になったら、本機の電源を切ります。

15 LANケーブルを本機から取り外します。

「[本機を認証スイッチに接続する](#)」に進みます。

PEAPを使用して設定する

IEEE802.1X認証の一つであるPEAPの設定方法を説明します。

1 本機のWebページを開きます。

 [本機のWebページを開く](#)

2 管理者としてログインします。

3 [管理者設定] を選択します。

4 [ネットワーク管理] > [IEEE802.1X] を選択します。

5 [IEEE802.1X] で [有効] を選択します。

6 [EAPタイプ] で [PEAP] を選択します。

7 [EAPユーザー] にユーザー名を入力します。

8 [EAPパスワード] にパスワードを入力します。

9 [サーバーを認証する] を選択し、[インポート] をクリックします。

10 CA証明書のファイル名を入力し、[OK] をクリックします。

RADIUSサーバーの認証に使用する認証局（CA）の証明書を指定します。PEM、DER、およびPKCS#7ファイルをインポートできます。

11 [送信] をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワーク機能が再起動してから有効になります。

12 本機がオンライン状態になったら、本機の電源を切ります。

13 LANケーブルを本機から取り外します。

「[本機を認証スイッチに接続する](#)」に進みます。

本機を認証スイッチに接続する

1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 LANケーブルを本機のネットワークインターフェースコネクターに接続します。

3 LANケーブルの他端を認証スイッチの認証ポートに接続します。

4 本機の電源を入れます。

5 本機のIPアドレスなどを設定します。

Eメールの設定 (Webページ)

本機がEメールを受信するプロトコル (POP3、SMTPなど) を設定します。

- 1 本機のWebページを開きます。

本機のWebページを開く

- 2 管理者としてログインします。

- 3 [管理者設定] を選択します。

- 4 画面左部の [ネットワーク管理] > [メールサーバー設定] をクリックします。

- 5 必要に応じてメールサーバーの設定をします。

- 6 [送信] をクリックします。

- 7 画面左部の [Eメール] > [受信設定] をクリックします。

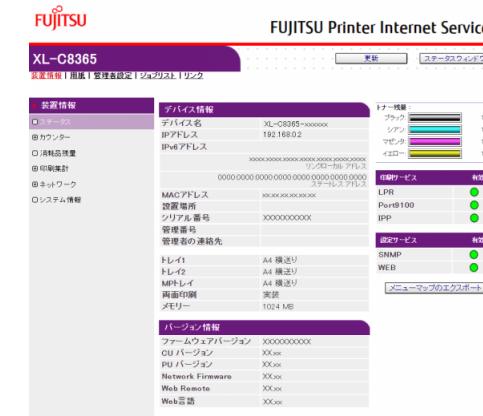
- 8 [POP3] を選択して [ステップ2へ] をクリックします。

- 9 必要に応じて受信用プロトコルを設定します。

- 10 [送信] をクリックします。

Webページの設定項目

• 装置情報



項目	説明
ステータス	装置の現在のステータスを表示します。「障害情報」として装置に発生している警告やエラーを表示します。また、各ネットワークサービスの動作状況や装置情報の一覧、装置に設定されているIPアドレスも確認できます。
カウンター	印刷の印刷枚数を表示します。
消耗品残量	消耗品の残量や寿命を表示します。
印刷集計（この機能は装置の管理者としてログインした場合に表示されます）	印刷集計結果を表示します。
ネットワーク	一般情報、TCP/IPステータス、メンテナンス情報など、ネットワークに関する設定情報を確認できます。
システム情報	本機の情報を表示します。

●用紙

この機能は装置の管理者としてログインした場合に表示されます。



項目	説明
トレイ構成	各トレイの用紙サイズ、カスタム用紙などを設定できます。 プリンタードライバーを使用する場合には、この設定値よりもプリンタードライバーで設定した値が優先されます。
用紙に関する設定	トレイの切り替えや優先順位を設定します。
両面最終ページ	最後のページが片面になるとき、両面印刷をするかどうか設定します。

●管理者設定

この機能は装置の管理者としてログインした場合に表示されます。



●ネットワーク管理

項目	説明
一般ネットワーク設定	ネットワークの接続方法を設定できます。
TCP/IP	TCP/IPに関する情報を設定できます。
NBT	NetBIOS over TCPに関する情報を設定できます。
メールサーバー設定	メールサーバーに関する情報を設定できます。
Eメール	受信設定 メール受信を設定できます。 Eメールの設定 (Webページ)
	アラート設定 本機に発生しているエラーなどについて、Eメールで通知する機能を設定できます。 Eメールアラート
SNMP	設定 SNMPを設定できます。
	Trap SNMP Trapを設定できます。
IPP	設定 IPP印刷に関する情報を設定できます。
	認証 認証を設定できます。
Windows Rally	Windows Rallyに関する情報を設定できます。
IEEE802.1X	IEEE802.1X/EAPに関する情報を設定できます。
セキュアプロトコルサーバー設定	セキュアプロトコルサーバーに関する情報を設定できます。
セキュリティー	プロトコルON/OFF 使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止できます。
	IPフィルタリング TCP/IPによるアクセスを制限できます。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によっては本機にネットワークからアクセスできなくなるような重大なトラブルを招きます。
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスによるアクセスを制限できます。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はMACアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によっては本機にネットワークからアクセスできなくなるような重大なトラブルを招きます。
暗号化 (SSL/TLS)	パソコン（クライアント）一本機間の通信を暗号化できます。
IPSec	パソコン（クライアント）一本機間通信の暗号化と改ざん防止のための設定ができます。
WebPageの認証方式	WebPageの認証方式を設定できます。

項目		説明
メンテナンス	再起動/初期化	ネットワークの再起動や初期化をします。再起動した場合、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Webページは表示されません。初期化をした場合は、IPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Webページも表示できなくなります。
	ネットワークの規模	ネットワーク上により効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能をもつハブを使用する場合、クロスケーブルでパソコンと本機を1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

● プリンター機能

項目		説明
印刷メニュー	印刷設定	コピー枚数などを設定できます。プリンタードライバーを使用する場合には、この設定よりもプリンタードライバーで設定した値が優先されます。
	印刷補正	マニュアルタイムアウト、ジャムリカバーなど印刷補正に関する設定ができます。
	印刷位置補正	X補正、Y補正、両面印刷X補正、両面印刷Y補正など印刷位置を調整できます。
	ドラムクリーニング	イメージドラムのドラムクリーニングを設定できます。
	ヘキサダンプ	受信した印刷データをすべて16進数で表示します。本機を再起動すると本モードを抜けます。
カラーメニュー		カラーを設定できます。
システム構成メニュー		動作モード、アラーム解除など、各種の状況に対する装置の動作を設定できます。
エミュレーション	PCL設定	PCLを設定できます。
プライベートジョブ印刷設定	ジョブ検証	印刷前にジョブの検証を行うかを指定します。 有効にするとジョブが変更されていないことを検証した後に印刷を行います。ジョブの完全性が保証されますが、印刷開始までの時間が長くなります。
	ジョブ消去方式	ジョブを消去する方式を設定します。 消去後にデータの上書きを行って復元できないように指定することができます。 上書きを行う場合は消去に時間がかかるようになります。 選択可能な値：単純消去/0x00で1回上書きを行う
	ジョブの保存期間	ジョブの保存期間を設定します。 ジョブを保存してから、設定した期間を経過しても印刷されない場合、ジョブは自動的に消去されます。 選択可能な値：15分/30分/1時間/2時間/4時間/8時間/12時間/1日/2日/3日/4日/5日/6日/7日

● 機器管理

機器に関する設定ができます。

項目	説明
ローカルインターフェース	USBメニュー
システム設定	表示単位などを設定できます。
節電モード	節電モードに関する設定ができます。
言語保守設定	言語を設定できます。
フォント設定	フォントの出力モードを設定します。
管理者パスワード	管理者パスワードを設定できます。
設定値	「機器設定」で設定されているデータをすべて初期化します。

● 運用初期設定

項目	説明
電力設定	オートパワーオフを設定できます。
時刻設定	本機に時刻を設定できます。
その他の設定	その他の機能に関する設定ができます。



- 時刻設定で【自動】を選択すると、操作パネルからは設定できません。

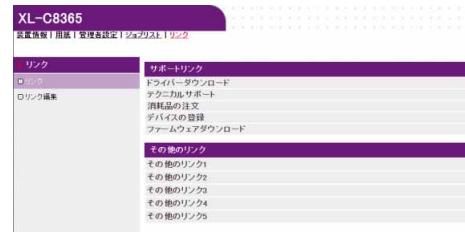
● ジョブリスト

この機能は装置の管理者としてログインした場合に表示されます。



項目	説明
ジョブリスト	装置に送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除も可能です。

• リンク



項目	説明
リンク	製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。
リンク編集（この機能は装置の管理者としてログインした場合に表示されます）	管理者が好きなURLを設定できます。サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。URLは、「http://」も含めて入力してください。

6

便利なソフトウェア

[ソフトウェア一覧](#)

[ソフトウェアのインストール](#)

[カラー調整ユーティリティ](#)

[色見本印刷ユーティリティ](#)

[FUJITSU LPRユーティリティ](#)

[Network Extension](#)

ここでは、本機をより快適にご使用になるためのソフトウェアについて説明します。

ソフトウェア一覧

本機で使用できるソフトウェアについて説明します。ソフトウェアの使用方法については、各トピックをご覧ください。

● 動作環境

Windows 11/Windows 10/Windows 8.1

Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/
Windows Server 2012

項目	説明	参照先
カラー調整ユーティリティ	パソコンから印刷する場合のカラー マッチングを調整します。 パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。	カラー調整ユーティリティ
色見本印刷ユーティリティ	RGB色見本を印刷します。 印刷された色見本を見て、希望する色で印刷するためのRGB値を確認することができます。	色見本印刷ユーティリティ
FUJITSU LPRユーティリティ	パソコンから、ネットワークに接続した装置の状態を確認したり、他の装置へ印刷データを転送することができます。	FUJITSU LPRユーティリティ
Network Extension	プリンタードライバーから本機の設定の確認や、オプションの設定ができます。このユーティリティーは、ネットワーク接続でプリンタードライバーをインストールすると、自動的にインストールされます。	Network Extension

ソフトウェアのインストール

使用したいソフトウェアがあるときは、以下の手順でインストールします。

「FUJITSU Printerプリントユーティリティ」を使って、使用したいソフトウェアを選択してインストールします。

本機をネットワークまたはUSBケーブルでパソコンと接続し、インストールを開始します。



- インストールを行う前に、本機の状態を確認してください。
 - 電源が入っていること。
 - ネットワークで接続する場合は、ネットワークケーブルでネットワークに接続し、本機のIPアドレスやその他の設定がされていること。

1 付属の「FUJITSU Printerプリントユーティリティ」をパソコンに挿入します。

2 [自動再生] が表示されたら、[XLSTART.EXEの実行] をクリックします。



- [ユーザー アカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

3 メニューから必要なソフトウェアを選択し、クリックします。



4 画面の指示に従って、インストールします。



- [使用許諾契約] が表示されたら、内容をよくお読みください。[はい]（または [使用許諾契約の全条項に同意します]）をクリックすると、[インストール先の選択] ウィンドウが表示されます。

5 インストールが完了したら [完了] をクリックします。

カラー調整ユーティリティ

カラー調整ユーティリティを使って、カラーを調整する方法について説明します。



- プリントドライバーごとに設定を行ってください。
- カラー調整ユーティリティを使用する場合は、パソコンに管理者としてログインしている必要があります。

- [パレットカラーを変更する](#)
- [ガンマ値や色相を変更する](#)
- [調整後のカラー設定で印刷する](#)
- [カラー調整の設定を保存する](#)
- [カラー調整の設定をインポートする](#)
- [カラー調整設定を削除する](#)

パレットカラーを変更する

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excelなどで選択したパレットの色を指定できます。



1 [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

2 [パレットカラーを調整します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 調整したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

4 設定の名前を選択し、[サンプル印刷] をクリックします。



- プリントドライバーのアップデート、再インストールを行い設定が初期化された場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、カラー調整名を自動的に再設定します。
[設定選択] 画面にカラー調整名が表示されるのを確認してください。

5 [次へ] をクリックします。

6 [テスト印刷] をクリックします。

7 画面のカラーパレットと、印刷された調整対象色サンプルの色を比較してください。

× 印が付いている色は調整できません。

8 調整したい色をクリックします。

9 ドロップダウンリストで、XとYの調整可能な範囲を確認します。

調整可能な値は色によって異なります。

10 印刷された色見本を確認し、調整可能な範囲内で最も適切な色を選択して、XとYの値を確認します。

11 手順10で確認した値を選択して、[OK] をクリックします。

12 [テスト印刷] をクリックし、調整後の色が希望する色に近いかどうかを確認して、[次へ] をクリックします。

さらに色を変更したり、他の色を変更する場合は、手順8～11を繰り返してください。

13 設定名を入力し、[保存] をクリックします。

14 [OK] をクリックします。

15 [完了] をクリックします。

ガンマ値や色相を変更する

ガンマ値の調整でトーンを、色相の調整で出力カラーを調整できます。

1 [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

2 [ガンマ・色相を補正します。] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 調整したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。

4 基準となるモードを選択し、[次へ] をクリックします。



- プリントードライバーのアップデート、再インストールを行い設定が初期化された場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、カラー調整名を自動的に再設定します。

5 必要に応じて、スライドバーを調整して設定を行います。

[インクの原色を使用する] にチェックを付けた場合は、各色の100パーセントが印刷に使用され、色相のスライドバーは固定されます。

6 [テスト印刷] をクリックします。

7 印刷結果を確認します。

希望する結果が得られない場合は、手順5～7を繰り返します。

8 [次へ] をクリックします。

9 名前を入力し、[保存] をクリックします。

10 [OK] をクリックします。

11 [完了] をクリックします。

調整後のカラー設定で印刷する

調整したカラー設定を使って印刷します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [基本設定] タブの [カラー・モノクロオプション] をクリックし、[オフィスカラー] を選択します。
- 5 [ユーザー設定] をチェックし、カラー調整ユーティリティで作成した設定を選択して、[OK] をクリックします。

カラー調整の設定を保存する

調整したカラー設定をファイルに保存できます。



- この機能を使用するには、パソコンの管理者の権限が必要です。

- 1 [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- 2 [設定をインポート・エクスポート・削除します。] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 設定を保存したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [エクスポート] をクリックします。
- 5 エクスポートする設定を選択し、[エクスポート] をクリックします。
- 6 ファイル名と設定の保存先のフォルダーを指定し、[保存] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [完了] をクリックします。

カラー調整の設定をインポートする

カラー設定を保存したファイルからインポートします。

- 1 [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- 2 [設定をインポート・エクスポート・削除します。] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 設定をインポートしたい装置を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [インポート] をクリックします。
- 5 ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- 6 インポートしたい設定を選択し、[インポート] をクリックします。
- 7 設定が正しくインポートされていることを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整設定を削除する

不要なカラー設定を削除します。

- 1 [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- 2 [設定をインポート・エクスポート・削除します。] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 設定を削除したい装置を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 削除する設定を選択し、[削除] をクリックします。
- 5 確認画面で [はい] をクリックします。
- 6 設定が正しく削除されていることを確認し、[完了] をクリックします。

色見本印刷ユーティリティ

色見本印刷ユーティリティを使用して、RGB色見本を印刷できます。印刷された色見本を確認し、必要に応じてアプリケーションのRGB値を調整することでアプリケーションから希望する色の印刷をすることができます。



- 色見本印刷ユーティリティはプリンタードライバーと一緒にインストールされます。

-
- 色見本を印刷する
 - 色見本をカスタマイズする
 - 色見本印刷ユーティリティのRGB設定値で印刷する
-

色見本を印刷する

色見本を印刷します。

- [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。



- [印刷] をクリックします。
- [プリンター名] から調整したい装置を選択します。
- [OK] をクリックします。
- 色見本から印刷したい色を確認し、RGB値をメモしてください。

色見本をカスタマイズする

「色見本を印刷する」の手順5で、印刷したい色がない場合は、以下の手順で色をカスタマイズします。

- 1 [切り替え] をクリックします。
- 2 [詳細] をクリックします。
- 3 希望の色が表示されるまで、3つのスライドバーを調整します。
- 4 [閉じる] をクリックします。
- 5 [印刷] をクリックします。
- 6 [プリンター名] から装置を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 色が希望どおり調整されているか確認してください。



- 結果が希望どおりにならない場合は、手順1～8を繰り返します。

色見本印刷ユーティリティのRGB設定値で印刷する

色見本印刷ユーティリティのRGB設定値で印刷します。

- 1 印刷するファイルを開きます。
- 2 文字または図形を選択して、アプリケーションでRGB値を調整します。
- 3 ファイルを印刷します。



- アプリケーションで色を指定する方法については、アプリケーションのマニュアルをお読みください。
- 色見本と希望のファイルを印刷する場合は、同じプリンタードライバーの設定値を使用してください。

FUJITSU LPRユーティリティ

FUJITSU LPRユーティリティを使って、ネットワーク経由の印刷、印刷の管理、本機の状態の確認ができます。

FUJITSU LPRユーティリティを使用するには、TCP/IPが有効になっている必要があります。



- 共有プリンターではFUJITSU LPRユーティリティを使用できません。Standard TCP/IPポートをお使いください。

- [FUJITSU LPRユーティリティを起動する](#)
- [FUJITSU LPRユーティリティに装置を登録する](#)
- [登録した装置の状態を確認する](#)
- [印刷ジョブを登録した装置に転送する](#)
- [同じ文書を登録した複数の装置から印刷する](#)
- [登録した装置のWebページを開く](#)
- [登録した装置のIPアドレスに自動的に追従する](#)
- [登録した装置のWebページのポート番号を設定する](#)
- [FUJITSU LPRユーティリティに登録した本機にファイルを送る](#)
- [不要な印刷ジョブを削除する](#)
- [FUJITSU LPRユーティリティを削除する（アンインストール）](#)

FUJITSU LPRユーティリティを起動する

- [スタート]をクリックし、[FUJITSU] > [FUJITSU LPRユーティリティ]を選択します。

FUJITSU LPRユーティリティに装置を登録する

FUJITSU LPRユーティリティに装置を追加します。



- 管理者の権限が必要です。
- 装置を追加できない場合、一度FUJITSU LPRユーティリティを終了し、[スタート] > [FUJITSU] > [FUJITSU LPRユーティリティ] を右クリックし、[その他] > [管理者として実行] を選択して起動してください。



- すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されている装置は設定できません。ポートを変更したい場合は、[リモートプリント] から [プリンターの再設定] を選択します。

1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。

2 [リモートプリント] メニューから [プリンターの追加] を選択します。

[ユーザー アカウント制御] 画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

3 [プリンタ名] を選択します。

ネットワークプリンターと、LPRポートに接続されているプリンターは、表示されません。

4 [IPアドレス] を入力します。または、[検索] をクリックし、[検索プリンター] から登録する機種名を選択し、[OK] をクリックします。

5 必要に応じて、[コメント] に装置を識別するための情報を入力します。

6 [OK] をクリックします。



登録した装置の状態を確認する

登録した装置の状態を確認します。

1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。

2 装置を選択します。

3 [リモートプリント] メニューから [プリンターのステータス] を選択します。

印刷ジョブを登録した装置に転送する

FUJITSU LPRユーティリティを使って、登録した装置に指定したプリントジョブを転送する方法について説明します。転送先の装置にトラブルが起きたときに、他の装置にジョブを転送する方法についても説明します。



- 印刷ジョブの転送は、お使いの装置と同じ機種名の装置に限ります。
- ジョブを転送する前に、装置を追加する必要があります。

選択した印刷ジョブを転送する

- 1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。
- 2 [リモートプリント] メニューから [ジョブの表示] を選択します。
- 3 転送したいジョブを選択し、[ジョブ] メニューから [転送] を選択します。
- 4 転送先の装置を選択し、[OK] をクリックします。

印刷ジョブを自動的に転送する

ビジー、オフライン、用紙切れなどが原因で、印刷できないときは、同じ機種名の装置に印刷ジョブを自動的に転送するように設定できます。



- 管理者の権限が必要です。

- 1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。
- 2 設定したい装置を選択します。
- 3 [リモートプリント] メニューから [プリンターの再設定] を選択します。
- 4 [詳細設定] をクリックします。
- 5 [ジョブの自動転送を行う] にチェックを付けます。
- 6 エラーが発生したときだけ、ジョブを転送するには、[エラー時のみ転送する] にチェックを付けます。

7 [追加] をクリックします。

8 転送先の装置のIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

同じ文書を登録した複数の装置から印刷する

1回の指示で、複数台の装置から印刷ができます。



- 管理者の権限が必要です。

- 1** FUJITSU LPRユーティリティを起動します。
- 2** 設定したい装置を選択します。
- 3** [リモートプリント] メニューから [プリンターの再設定] を選択します。
- 4** [詳細設定] をクリックします。
- 5** [他のプリンターにも同時に印刷する] にチェックを付けます。
- 6** [設定] をクリックします。
- 7** [追加] をクリックします。
- 8** 同時に印刷する装置のIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。
- 9** [OK] をクリックします。

登録した装置のWebページを開く

FUJITSU LPRユーティリティから、本機のWebページを開くことができます。

- 1** FUJITSU LPRユーティリティを起動します。
- 2** 装置を選択します。
- 3** [リモートプリント] メニューから [Internet Service 設定] を選択します。



- Webのポート番号を変更したときはWebページが開きません。
詳しくは「[登録した装置のWebページのポート番号を設定する](#)」をご覧ください。

登録した装置のIPアドレスに自動的に追従する

本機のIPアドレスが変更されても、元の装置との接続を維持するように設定できます。



- 管理者の権限が必要です。



- DHCPによってIPアドレスを動的に割り当てているときや、ネットワーク管理者が本機のIPアドレスを手動で変更するときは、IPアドレスが変更される可能性があります。

1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。

2 [オプション] メニューから [設定] を選択します。

3 [自動的にIPアドレスを再設定する] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

登録した装置のWebページのポート番号を設定する

1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。

2 装置を選択します。

3 [リモートプリント] メニューから [プリンターの再設定] を選択します。

4 [詳細設定] をクリックします。

5 [ポート番号] に、Webページのポート番号を入力します。

6 [OK] をクリックします。

FUJITSU LPRユーティリティに登録した本機にファイルを送る

ネットワークで接続され、FUJITSU LPRユーティリティに登録された装置があれば、印刷データをダウンロードできます。

- 1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。
- 2 ダウンロード先の装置を選択します。
- 3 [リモートプリント] から [ダウンロード] を選択します。
- 4 ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
本機にファイルが送られます。

不要な印刷ジョブを削除する

FUJITSU LPRユーティリティを使用して、不要な印刷ジョブを削除できます。

- 1 FUJITSU LPRユーティリティを起動します。
- 2 装置を選択します。
- 3 [リモートプリント] メニューから [ジョブの表示] を選択します。
- 4 削除したいジョブを選択します。
- 5 [ジョブ] メニューから [削除] を選択します。

FUJITSU LPRユーティリティを削除する（アンインストール）

FUJITSU LPRユーティリティを削除します。



- 管理者の権限が必要です。

- 1** FUJITSU LPRユーティリティを閉じてることを確認します。
- 2** [スタート] をクリックし、[FUJITSU] > [FUJITSU LPRユーティリティの削除] を選択します。
[ユーザー アカウント制御] 画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
- 3** 確認画面で [はい] をクリックします。

Network Extension

Network Extensionでは、本機の設定の確認と、オプション構成の設定ができます。

Network Extensionを使用するには、TCP/IPが有効になっている必要があります。



- 管理者の権限が必要です。



- Network Extensionは、TCP/IPネットワークでプリンタードライバーをインストールすると、自動的にインストールされます。
- Network Extensionは、プリンタードライバーと連携して動作します。Network Extensionだけをインストールしないでください。
- Network Extensionは、プリンタードライバーがLPRポートまたは標準TCP/IPポートに接続されているときにだけ機能します。

-
- プリンターのプロパティを表示する
 - 本機の設定を確認する
 - オプションを自動で設定する
 - Network Extensionを削除する（アンインストール）
-

プリンターのプロパティを表示する

Network Extensionを使用するには、プリンターのプロパティ画面を表示します。

- 1 「プリンターフォルダー」を開きます。
- 2 プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

本機の設定を確認する

プリンターのプロパティ画面で本機の設定を確認できます。

- 1 プリンターの [プリンターのプロパティ] 画面を表示します。
- 2 [Network Extension] タブを選択します。



- 3 [更新] をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。

[Web 設定] をクリックすると、Webページが自動的に起動します。そのWebページの画面で、本機の設定を変更できます。

[Webページ \(FUJITSU Printer Internet Service\)](#)



- サポートされていない環境でNetwork Extensionを使用すると、[オプション] タブが表示されないことがあります。

オプションを自動で設定する

接続している本機のオプション構成を取得し、プリンタードライバーを自動で設定することができます。

- 1 プリンターの【プリンターのプロパティ】画面を表示します。
- 2 【デバイスオプション】タブを選択します。
- 3 【プリンターの情報を取得する】をクリックします。
- 4 【OK】をクリックします。

Network Extensionを削除する（アンインストール）

- 1 【スタート】をクリックし、【Windowsシステムツール】>【コントロールパネル】>【プログラムと機能】を選択します。
- 2 【FUJITSU Network Extension】を選択し、【アンインストール】をクリックします。
- 3 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

**カラーページプリンタ XL-C8365
ソフトウェアガイド**

B5WY-1801-02 Z0-00

発行日 2022年6月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。